

問27.

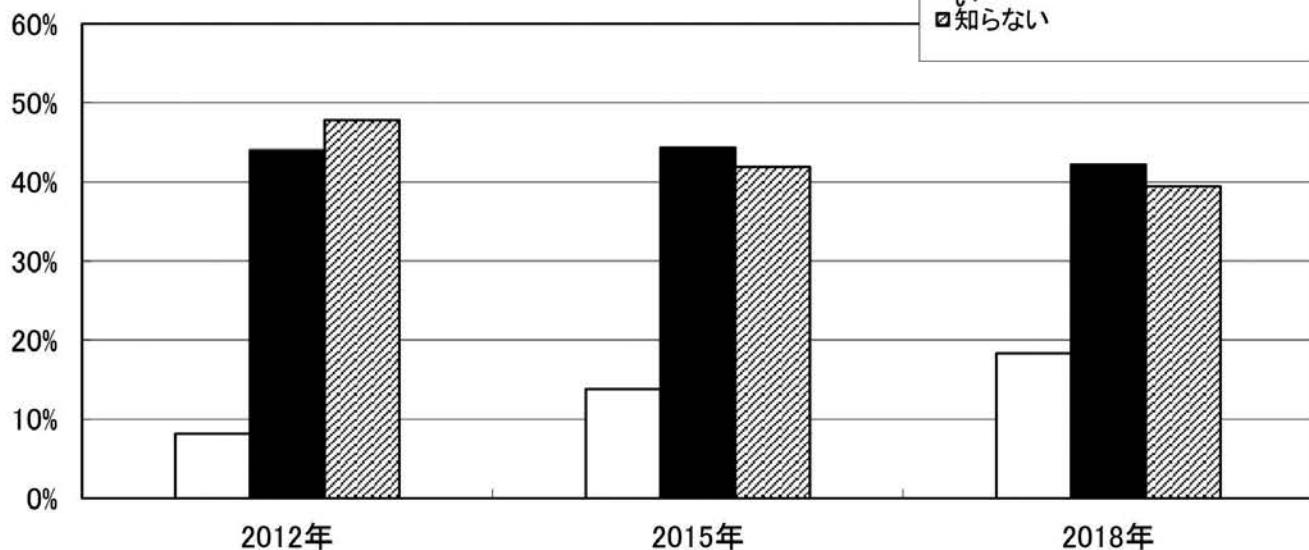
公共工事で設計変更を行うとき設計変更審査会(設計変更協議を受けた場合に受発注者で話し合う会議、名称が異なる場合がある)を行います。この制度を貴方は知っていますか

設計変更審議会	2009年		2012年		2015年		2018年	
知っていて、活用している	—	—	293	8.1%	345	13.8%	391	18.3%
知っているが、活用したことがない	—	—	1583	44.0%	1109	44.3%	901	42.2%
知らない	—	—	1720	47.8%	1049	41.9%	842	39.5%
合計	—	—	3596	100.0%	2503	100.0%	2134	100.0%

表27

### 設計変更審査会

- 知っていて、活用している
- 知っているが、活用したことがない
- ▨知らない



問27 設計変更審査会

(参考資料)

活用しているうちの国の割合を以下に示す。

活用しているうちの国の割合	2012年	2015年	2018年
知っていて、活用している	293	345	391
そのうち国の工事	250	306	336
国の割合	85.32%	88.70%	85.93%

問27で以下に回答された方の「設計変更審査会を開く頻度」に関する発注主体別統計

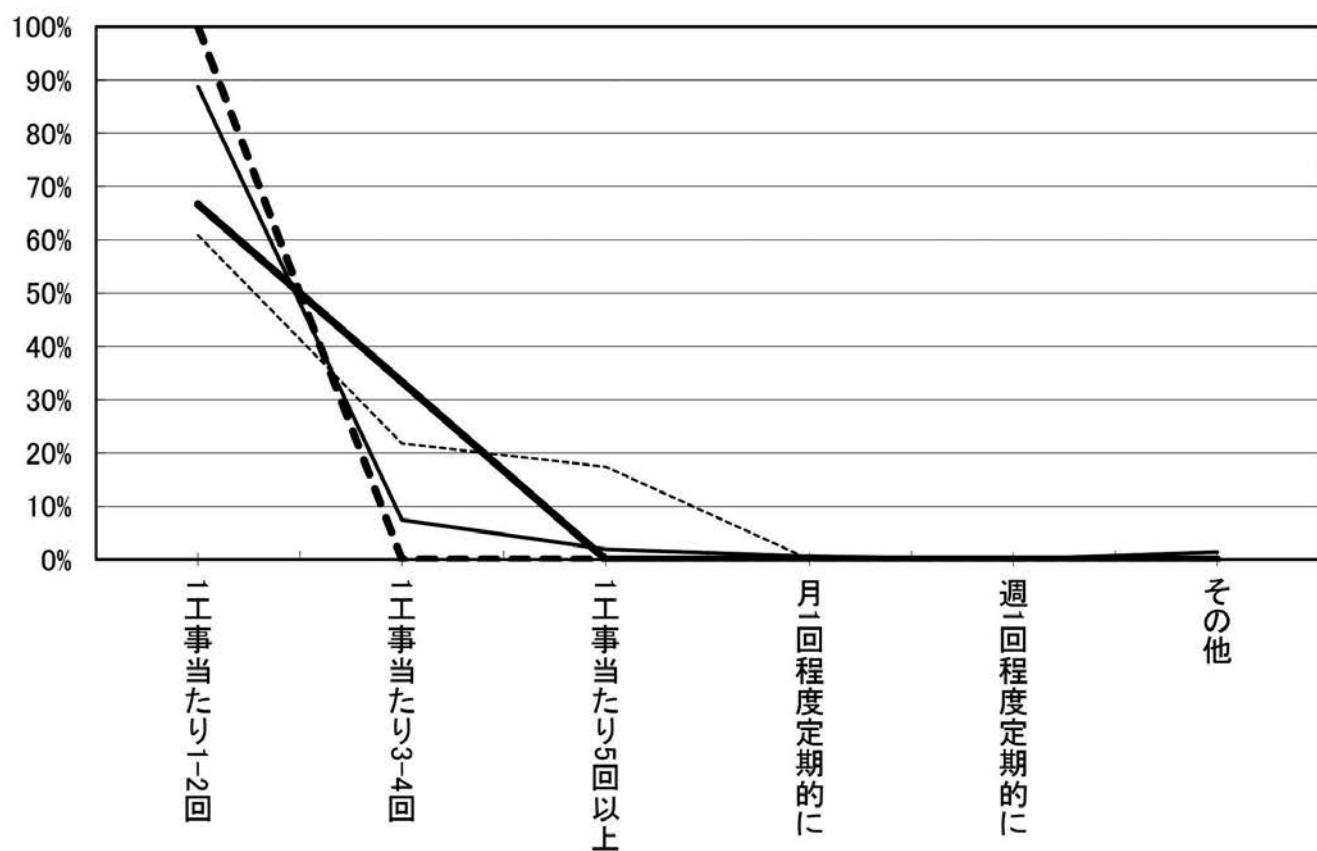
1. 知っていて、活用している

会議の頻度	国	県政令市	市町村	その他
1工事当たり1-2回	323 88.7%	14 60.9%	2 66.7%	1 100.0%
1工事当たり3-4回	27 7.4%	5 21.7%	1 33.3%	0 0.0%
1工事当たり5回以上	7 1.9%	4 17.4%	0 0.0%	0 0.0%
月1回程度定期的に	2 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
週1回程度定期的に	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	5 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
合計	364 100.0%	23 100.0%	3 100.0%	1 100.0%

表27-1

会議の頻度

— 国  
- - - 県政令市  
— 市町村  
- - - その他



問27で以下に回答された方の「資料作成者」に関する発注主体別統計

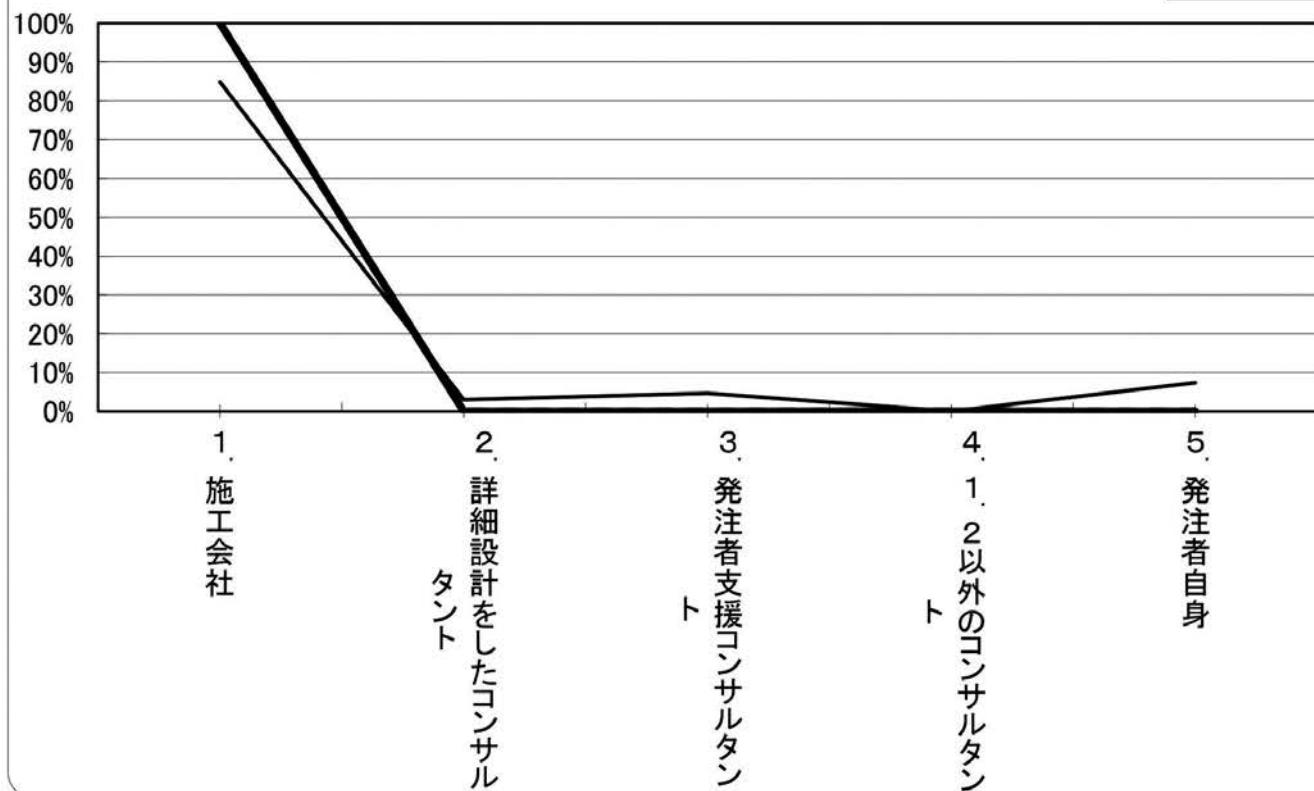
1. 知っていて、活用している

資料作成者	国		県政令市		市町村		その他	
1. 施工会社	309	84.9%	23	100.0%	3	100.0%	1	100.0%
2. 詳細設計をしたコンサルタント	11	3.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3. 発注者支援コンサルタント	17	4.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4. 1. 2以外のコンサルタント	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5. 発注者自身	27	7.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	364	100.0%	23	100.0%	3	100.0%	1	100.0%

表27-2

資料作成者

—国  
-----県政令市  
——市町村  
- - - - その他



問27で以下に回答された方の「実施してみてどう思ったか」に関する発注主体別統計

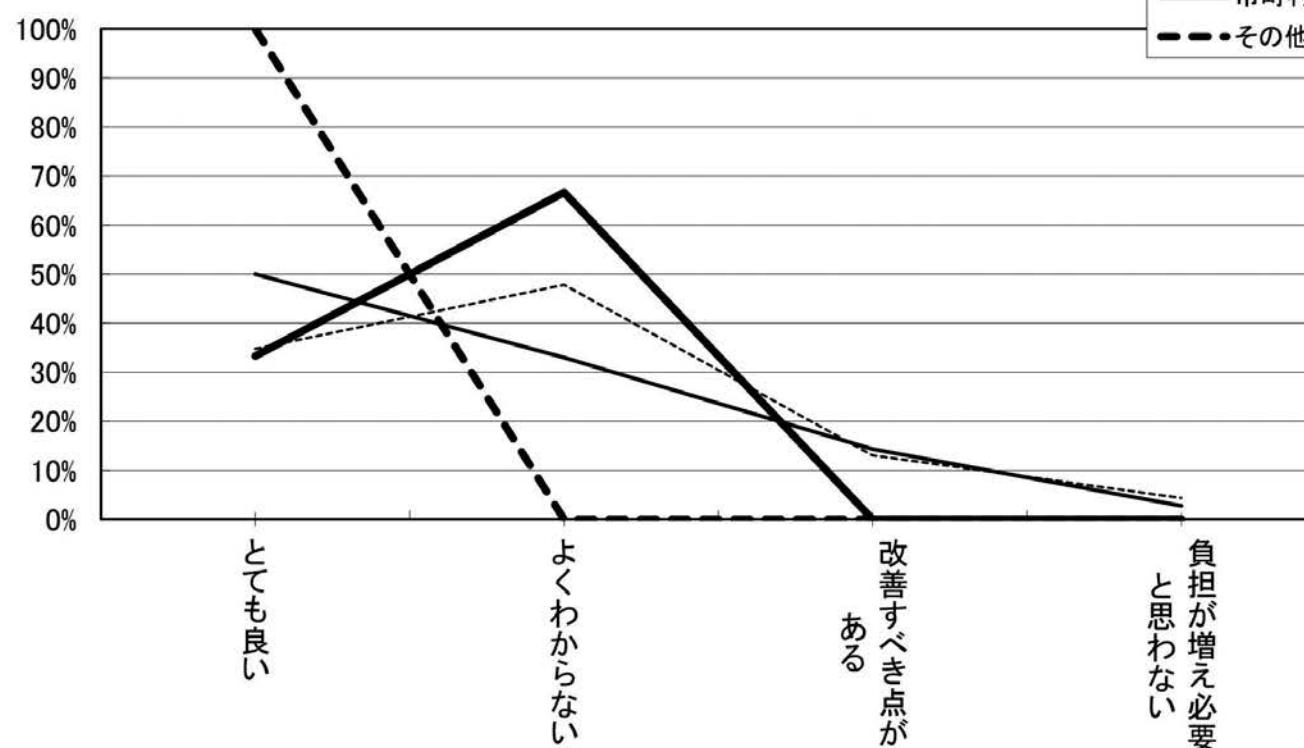
1. 知っていて、活用している

実施した感想	国		県政令市		市町村		その他	
とても良い	182	50.0%	8	34.8%	1	33.3%	1	100.0%
よくわからない	120	33.0%	11	47.8%	2	66.7%	0	0.0%
改善すべき点がある	52	14.3%	3	13.0%	0	0.0%	0	0.0%
負担が増え必要と思わない	10	2.7%	1	4.3%	0	0.0%	0	0.0%
合計	364	100.0%	23	100.0%	3	100.0%	1	100.0%

表27-3

実施した感想

—— 国  
----- 県政令市  
—— 市町村  
- - - その他



### 問27-3 その他の回答

#### 1. 知っていて、活用しているを選択された方の回答

■国	・資料作成において、多大な時間と労力を費やした。	4
	・作成する書類が多い	2
	・設計変更で数量調査や図面訂正が多すぎて図面は書きたくない。	1
	・変更に関わる資料を大量に作らされることが多いので、変更に関する資料は通常かわさ れる協議資料のみとし、新たに作成をしないようにしてほしい。または、協議をもとに発注 者側が資料を作成する。	1
	・受注者活用の図面製作の負担が大きすぎる。	1
	・現場施工中に変更図面や資料を作成するのが厳しい。	1
	・審査会の資料と言いつつ余分な資料提出まで求められ、当日は予想通り必要としない資 料であった。	1
	・審査会資料は受注者が作成しているが負担が大きいので費用負担を考えてもいいのでは ないでしょうか。	1
	・審査会で使用する資料の作成は受注者が行っており負担は大きいが、設計者や発注者で は現地の詳細を把握しきれていないため不適格である。最近、設計業務として追加変更さ れるケースが間々あるが、要求される内容が量・質ともに高度になり、協議が整うまでの 時間がかかりすぎる。	1
	・審査会資料の作成に時間がかかりすぎる。不備が生じた場合、再度、書類の提出が求め られるため、時間がかかる。外注しても時間がかかり、工期を圧迫しかねないため、時間 外労働が減らない。	1
	・施工者が審査の際使用する資料を作成している。誰かが作成することになるが、3者が持 ち寄る体制にしてほしい。	1
	・資料を作成しても設計変更対象となるかの基準が分からず、計上してもらえなかつた事も あった。明確な基準やそのシミュレーションを明示してほしい。	1
	・個人的主觀に差があるため、資料作りに多大な労力が必要。(無給)	1
	・変更図面の作成や作成資料が膨大である(おおむね50ページを20部程度)。	1
	・全ては変更図面が基となるが、図面作成、訂正が間に合っていない。	1
	・設計変更は獲得できたが、資料のボリュームが大きかったことと、監督員が「上長との折 衝のため」と言いつつ何度も追加で資料を求めてくること。非常にストレスである。	1
	・審査会出席者以外(局の担当者)の意見で大きく変わる。設計変更が後になって認めら れない。	1
	・その場で認められたことが、最終的に覆る場合があった。	1
	・設計変更審査会資料作成時、工法・施工方法選定及び金額の対比等施工業者が作成し て提出しているのが現状です。設計業務うに慣れた、詳細設計をしたコンサルタントが支 援してくれれば、施工業者の負担が少なくなるのではないかと思います。	1
	・変更図面・資料の作成が労力、時間的にも大変な作業です。設計コンサルタントの関与が もっとあればと思います。	1
	・コンサルの回答が遅く、工程に影響がでる。	1
	・設計コンサルタントの意見が明確でない。	1
	・設計コンサルタントの対応が悪い場合があったので、会議する前に調整が必要と思った。	1
	・発注図に誤りがあるため、技術員での図面修正はおかしい。設計コンサルタントに行わせ るべき。	1
	・設計業務として発注した成果内容を発注者が理解していないと感じる。施工者が工事受注 後に設計照査であげる項目が多数発見されているのが現状である。	1
	・発注者支援コンサルタントも公平な視点で参画すべきと感じた。	1
	・回答が遅く、出てきた書類では施工できなかったため、施工業者が作成した	1
	・開催日が決まっておりその日に間に合わせるための労力の負担が大きかった。	1
	・形式だけになっているので、もっと意味のある会議になるとよい。	1
	・経済性を重視し、施工性は二の次である。受発注者対等の会議ではない。工事事務所幹 部の意見で決定してしまう。時間の無駄。事務所幹部と監督員だけの会議でよい。	1
	・現場の条件が違っていることを、証明する資料を作成するのに時間がかかる。発注者に 納得してもらはず、再提出を求められる。	1
	・工事管理連絡会の回答が曖昧であり、設計変更審議会の意図が不透明である。	1
	・工程について日施工量を説明したが、納得してもらえなかった。机上の工程と実際の現場 の施工量の違いが分からないのはしょうがないのでしょうか……	1

・施工会社が要望しても、実施して頂けない。	1
・施工上必要な費用が積算基準等にない等の理由で変更が認められない場合、実績に沿って設計に反映していただきたい。	1
・事務所レベルでの審査のため、局の審査次第で判断が変わる可能性がある。事前に項目と概算金額について局・事務所で確認し、審査会では金額の確定まで行って欲しい。	1
・実際に反映されない場合がある。	1
・受注者側の判断(変更を受理するのか)する期間が短い為、金額の折衝が困難。	1
・審査会開催までの発注担当課の対応速度。設計変更審査会にかけるべき案件があつたとき、主任監督員と受注者は資料も用意し発注担当課に掛け合う(実質的には開催発議)が、発注担当課の判断・対応が遅いうえ資料の修正依頼が延々と続いているまでたっても審査会が開かれないと。運用方針でいう「速やかに開催」が全く守られていない。	1
・審査会中に発注者側が納得できない事案に対して、後日説明資料を作らされるから。	1
・制度としては大変すばらしいが、発注者が多忙な為、なかなかうまく運営できていない。(実際の体制構築)また、審査会で決まった方針は設計変更時に再整理しないこと。	1
・設計変更1ヵ月前あたりに会議が開かれ、発注者の積算担当者はそこで初めて協議内容を確認するといったことが多い。近隣工事では変更対象としている等、その場で変更対象外になることもある。	1
・設計変更がスムーズにいくように、発注者の否定的な意見ではなくどうしたらより良いものができるか、金額にこだわらない審査会が必要	1
・設計変更審査会は具体的な金額が計上されないと話しつらい。一方、見積参考が出てきた時点で行うと発注者の処理が終わっている場合等があり遅い。結果的に違算等があつても手遅れなのが現状である。	1
・設計変更審査会は発注者と施工業社が変更数量について確認する会議であるが、受発注者間での協議は終わっていることから、開催する必要はないのではないか。	1
・設計変更審査会を実施しても、発注者の思いが優先される。標準積算にとらわれすぎて、現地にそぐわない積算をされる。	1
・設計変更内容や今後の工事の進め方について話し合うが、その場で方向性が決まらない。また、決まったとしても増額が大きすぎるとの理由で後日覆され、計画の見直しが必要となり負担が増えるだけ。	1
・大まかな方針が決まるが設計変更までの道のりが長い。	1
・発注者内の事前調整がされていないなど、審査会での結論が不調に終わることもある。	1
・発注前の調査設計をもう少し現地に即したものにしておく必要がある。	1
・必要な変更はみていただく必要があり、皆があつまり審議する必要はない。	1
・変更内容においては、積算上の観点から変更計上できないものもある。	1
・明らかに変更する必要があるものについても、いちいち設計変更審査会を開催するので、設計変更内容次第で開催の有無を決定する等。	1
・受注者の負担感のほとんどは、発注以前の詳細設計が現況と合わないことであり、工事発注以前に発注の可否を決める仕組が必要である。	1
・設計変更の方向性が決まってから開催するケースが多く、形骸化している。施工中の早い段階で実施して、実態のあるものにすべき。	1
・ただやってるだけで、中身は伴っていない。変更の対象にしてもらえない事が多く	1
・発注者側に設計変更審議会を最低1回は、やらないといけないという義務的な雰囲気がある。	1
・コンサルタントも協議に参加すべき	1
・審査会のための労力負担が大きいが、得られる対価が乏しい。	1
・図面及び資料の整理が多くなるから	1
・変更図面等、発注者側が早期に作成すべきである。	1

■県政令市

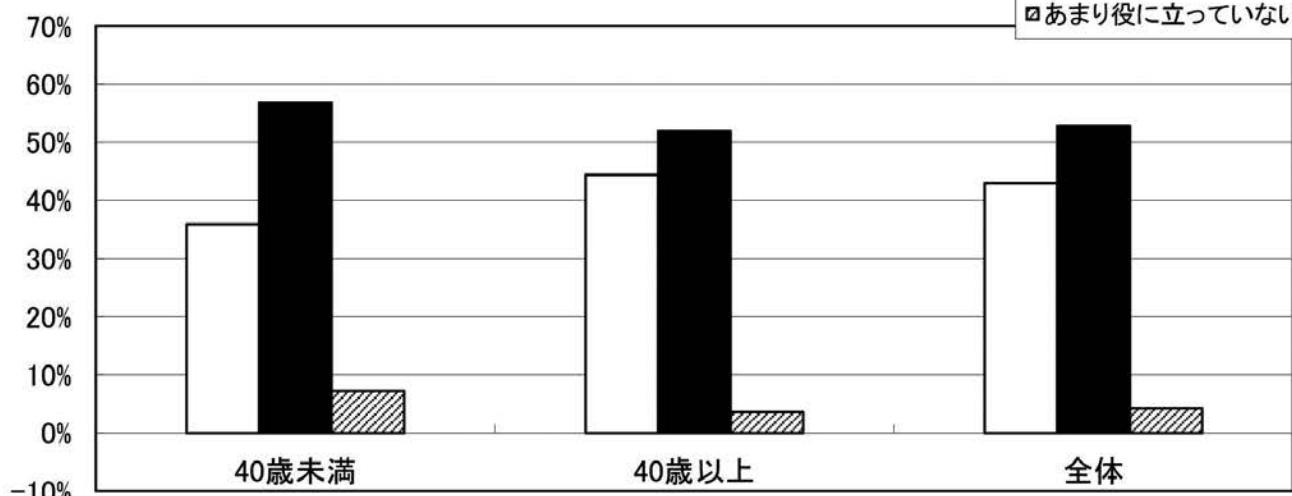
問28. 貴方は土木技術者として自分の仕事が役に立っていると感じていますか、次の中から1つ選択してください。

自分の仕事が役に立っているか	40歳未満	40歳以上	全体	
役に立っている	129	35.9%	787	44.4%
少しは役に立っている	204	56.8%	921	52.0%
あまり役に立っていない	26	7.2%	64	3.6%
合計	359	100.0%	1772	100.0%
			2131 100.0%	

表28

### 自分の仕事が役に立っているか

□役に立っている  
■少しは役に立っている  
▨あまり役に立っていない



問28で以下に回答された方にお聞きします。その仕事に誇りを感じていますか？

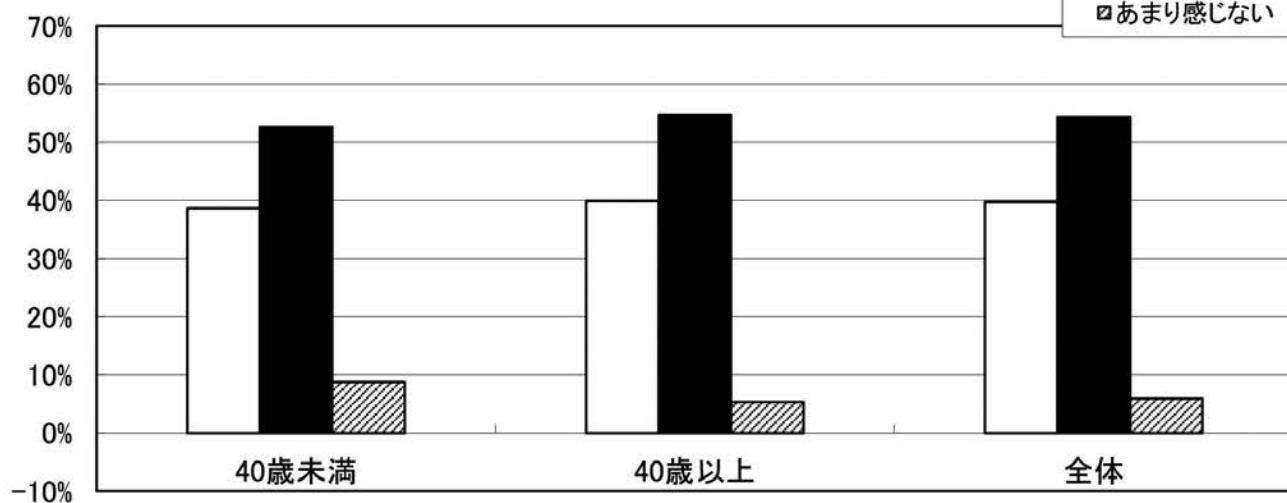
1. 役に立っている
2. 少しは役に立っている

誇りを感じているか	40歳未満		40歳以上		全体	
強く感じる	128	38.7%	680	39.9%	808	39.7%
少し感じる	174	52.6%	932	54.7%	1106	54.4%
あまり感じない	29	8.8%	91	5.3%	120	5.9%
合計	331	100.0%	1703	100.0%	2034	100.0%

表28-1

### 誇りを感じているか

- 強く感じる
- 少し感じる
- ▨あまり感じない



問28-1で以下に回答された方にお聞きします。誇りを感じた背景と思われるものを選んでください  
(2つ以内を選択)。

1. 強く感じる
2. 少し感じる

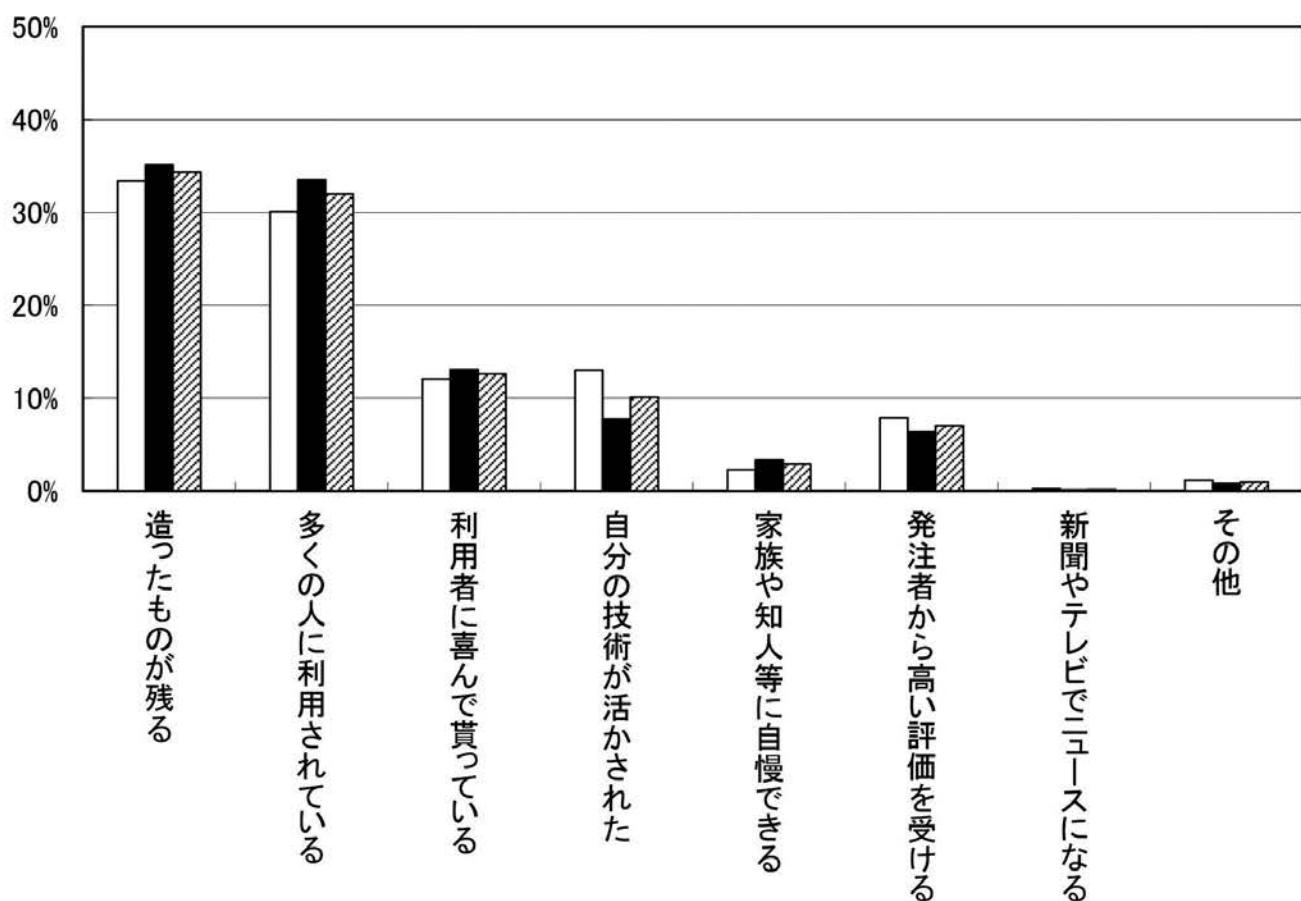
## 全体

誇りを感じた背景	強く感じた人	少し感じた人	合計
造ったものが残る(地図に残るなど)	498 33.4%	643 35.1%	1141 34.3%
多くの人に利用されている(感謝の有無に関係なく)	449 30.1%	614 33.5%	1063 32.0%
利用者に喜んで貰っている	180 12.1%	239 13.1%	419 12.6%
自分の技術が活かされた	194 13.0%	141 7.7%	335 10.1%
家族や知人等に自慢できる	34 2.3%	61 3.3%	95 2.9%
発注者から高い評価を受ける(高評点、表彰等)	117 7.8%	116 6.3%	233 7.0%
新聞やテレビでニュースになる	3 0.2%	2 0.1%	5 0.2%
その他(具体的に)	17 1.1%	15 0.8%	32 1.0%
合計	1492 100.0%	1831 100.0%	3323 100.0%

表28-2

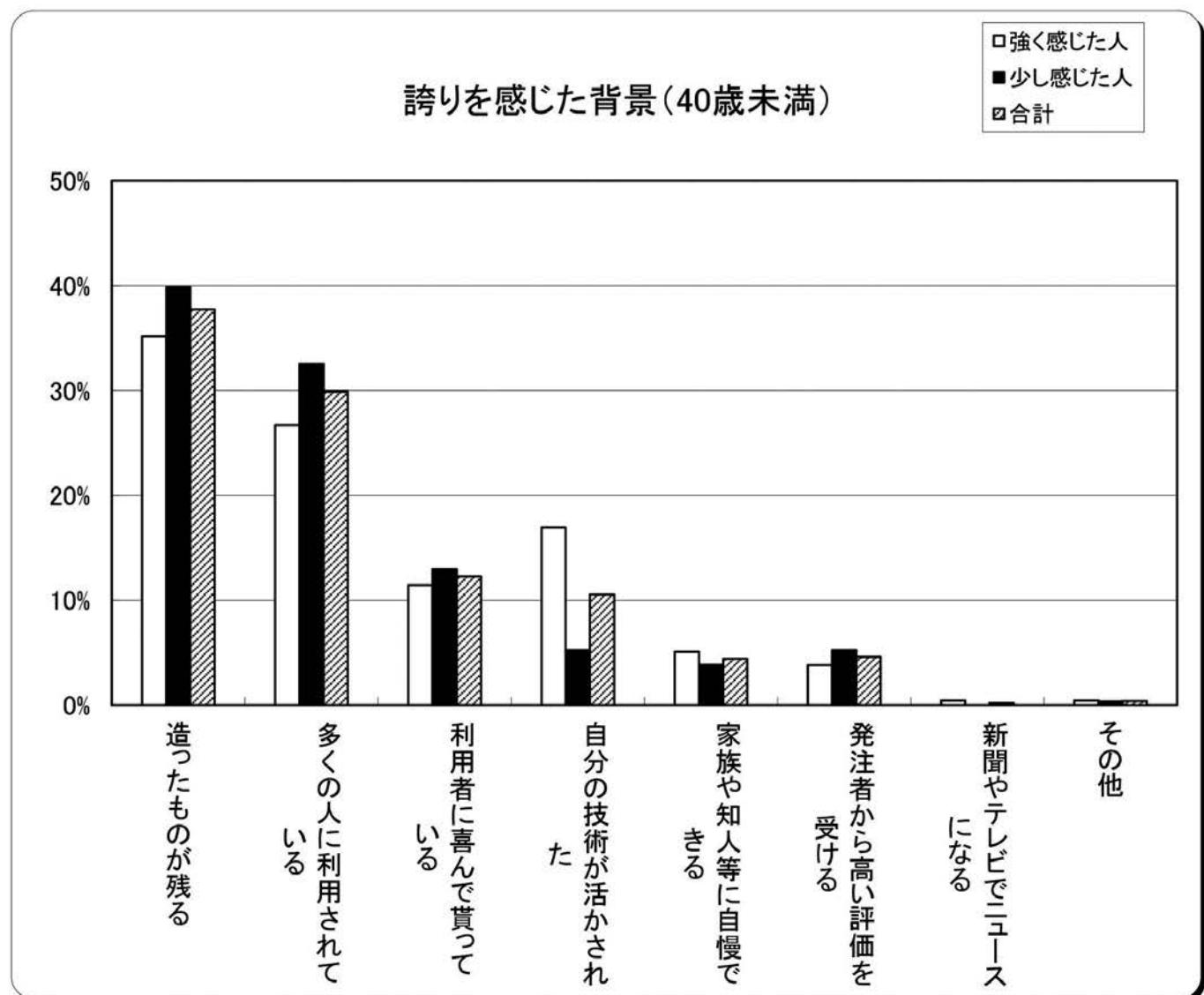
誇りを感じた背景(全体)

□強く感じた人  
■少し感じた人  
▨合計



## 40歳未満

誇りを感じた背景	強く感じた人	少し感じた人	合計
造ったものが残る(地図に残るなど)	83 35.2%	114 39.9%	197 37.7%
多くの人に利用されている(感謝の有無に関係なく)	63 26.7%	93 32.5%	156 29.9%
利用者に喜んで貰っている	27 11.4%	37 12.9%	64 12.3%
自分の技術が活かされた	40 16.9%	15 5.2%	55 10.5%
家族や知人等に自慢できる	12 5.1%	11 3.8%	23 4.4%
発注者から高い評価を受ける(高評点、表彰等)	9 3.8%	15 5.2%	24 4.6%
新聞やテレビでニュースになる	1 0.4%	0 0.0%	1 0.2%
その他(具体的に)	1 0.4%	1 0.3%	2 0.4%
合計	236 100.0%	286 100.0%	522 100.0%

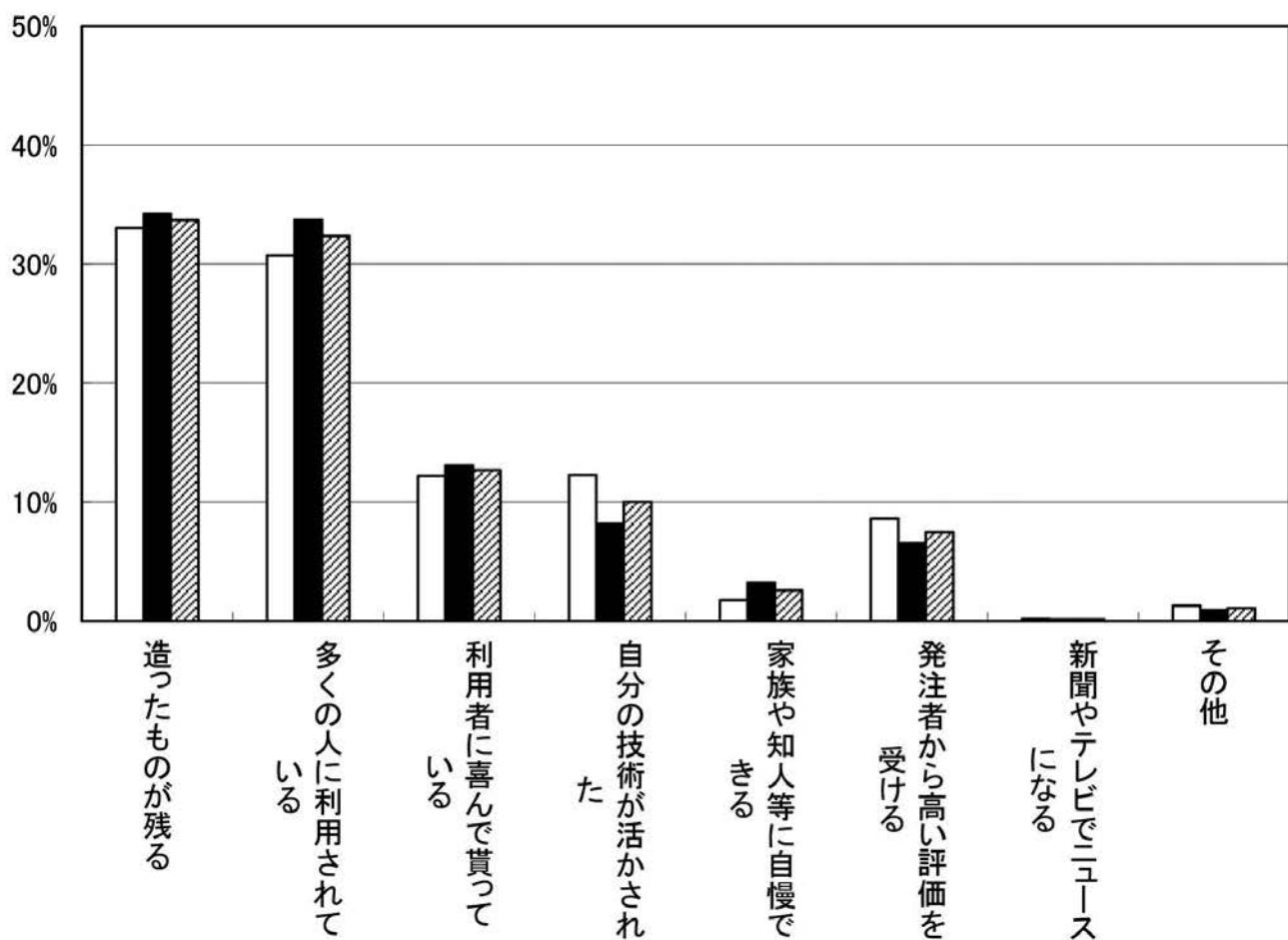


## 40歳以上

誇りを感じた背景	強く感じた人	少し感じた人	合計
造ったものが残る(地図に残るなど)	415	33.0%	529
多くの人に利用されている(感謝の有無に関係なく)	386	30.7%	521
利用者に喜んで貰っている	153	12.2%	202
自分の技術が活かされた	154	12.3%	126
家族や知人等に自慢できる	22	1.8%	50
発注者から高い評価を受ける(高評点、表彰等)	108	8.6%	101
新聞やテレビでニュースになる	2	0.2%	2
その他(具体的に)	16	1.3%	14
合計	1256	100.0%	1545
			2801
			100.0%

誇りを感じた背景(40歳以上)

□強く感じた人  
■少し感じた人  
▨合計



## 問28-2 その他の回答

### 1. 強く感じるを選択された方の回答

- ・ 安全、安心な人々の生活を守り続けていることを誇りに思う。特に、災害時の道路啓開やその後の災害復旧や復興工事の意義を重く感じる。また、災害予防工事の重要性も最近特に感じている。 1
- ・ 会社に利益を生み、貢献している。 1
- ・ 現在の職種(鋼橋の架設)に就くのが子供のころからの夢だった。 1
- ・ 災害発生時・除雪等には貢献していると思う。 1
- ・ 災害復旧等、土木にしかできなく、また利便性の向上や生活が豊かになることに貢献できると感じるから 1
- ・ 自身の経験をもとに、工事受注者にアドバイスを行い喜んでもらえる 1
- ・ 社会インフラ整備に微力ながら貢献できる 1
- ・ 社会基盤として国土の安全、安心、快適な生活環境の構築に役立っている 1
- ・ 住民の生活や財産を守る 1
- ・ 人知れず、みんなの生活を守っているという自負 1
- ・ 地域住民の安全確保 1
- ・ 東日本大震災発災後の災害対応や降雪時の除融雪対応等、地域を守っているという誇りがある。 1
- ・ 与えられた条件の中で、精一杯のものをみんなで力を合わせてつくっている為。 1
- ・ 現在の技術者の多くは気が付いていない人が多いが本来山を削って道路を作ったり、川を切り替えたり橋を造るなど一般の職業の人では絶対できない事をやっている。建設業の本来の目的の一つにある社会資本整備への貢献とはものすごく尊いものに感じている。 1
- ・ 公共の財産を守る仕事であり、地域の基幹業種でありなくてはならないものであるから 1
- ・ 自分が経営しているから 1
- ・ 発注者の理解が得れて地域の安全・安心に寄与できていると思っているから。 1

### 2. 少し感じるを選択された方の回答

- ・ たまたま現場付近で災害が起り、発注者とともに速やかに対応でき、通行止めを最小限に抑えられた。 1
- ・ 減災に役に立っているので。 1
- ・ 減災に役立っている。地域の産業(農林水産業など)の発展のためになる。 1
- ・ 東日本大震災で弊社で施工した構造物が残っている 1
- ・ 何らかの形で、ふるさとを守っている感じがします。 1
- ・ 休日でも何があっても緊急時等に出動している。 1
- ・ 公共設備の構築の為、社会的に意義があると思われる。 1
- ・ 工事内容に変更が生じた場合、積算し変更予算が予想できる。 1
- ・ 自己満足 1
- ・ 社内で重宝される。 1
- ・ 主に河川工事に携わっており、災害防止に役立っていると思っている。 1
- ・ 多くの技術者や地元の方々を招き、現場見学会等を開催したとき。 1
- ・ 土木構造物の延命ができること 1
- ・ 発注時点において、工法・金額が決められており、予算の消化的な工事になっている。 1
- ・ 利用者が喜んでいるかは知る由もないが、造ったものが一般に供用され、利用されている。 1

問28、問28-1で以下に回答された方にお聞きします。なぜそう思いますか？(2つ以内を選択)。

問28 3. あまり役に立っていない

問28-1 3. あまり感じない

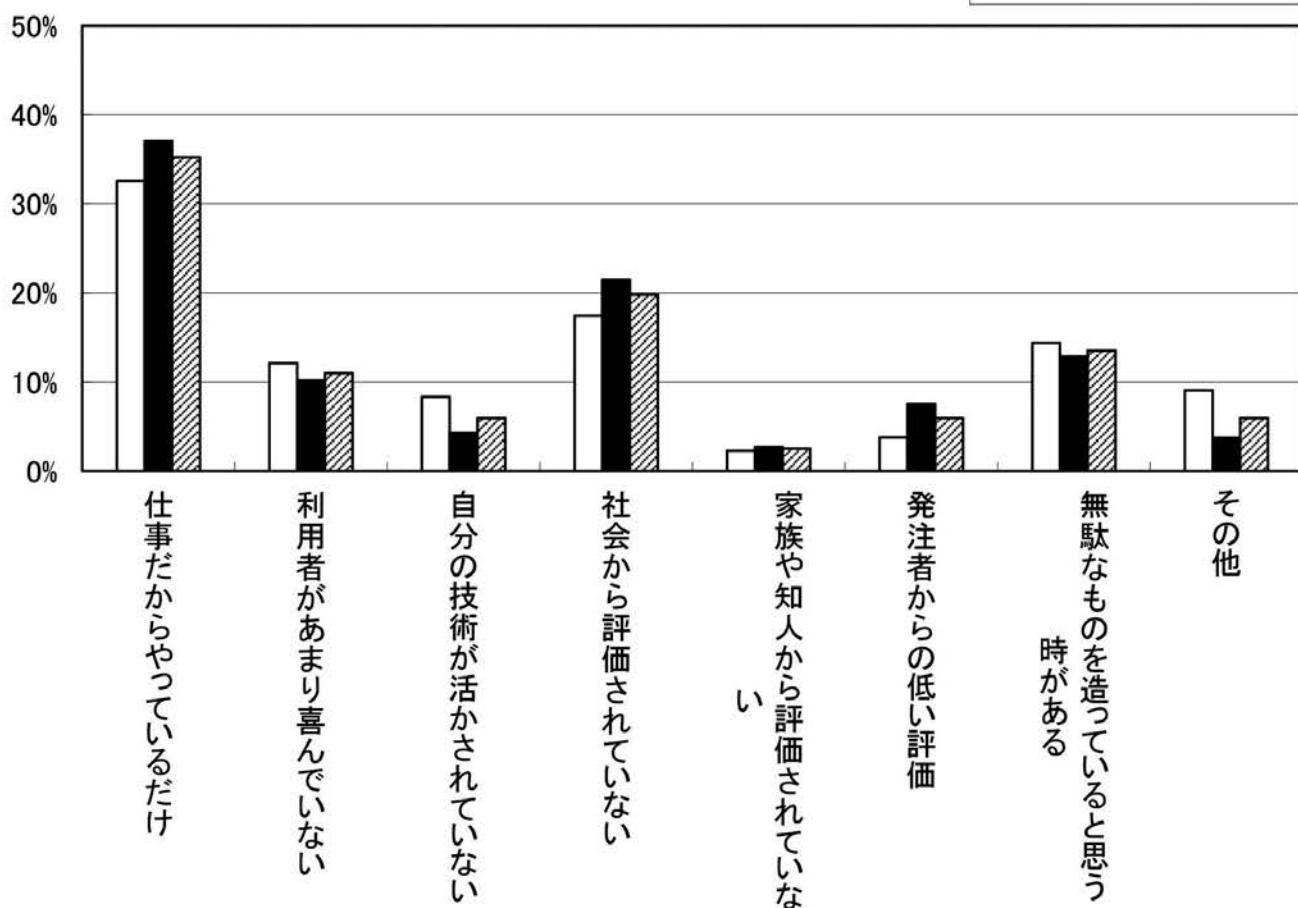
## 全体

なぜそう思うか	あまり役に立っていない		誇りを感じない		合計	
仕事だからやっているだけ	43	32.6%	69	37.1%	112	35.2%
利用者があまり喜んでいない	16	12.1%	19	10.2%	35	11.0%
自分の技術が活かされていない	11	8.3%	8	4.3%	19	6.0%
社会から評価されていない(悪く言われることもある)	23	17.4%	40	21.5%	63	19.8%
家族や知人から評価されていない	3	2.3%	5	2.7%	8	2.5%
発注者からの低い評価	5	3.8%	14	7.5%	19	6.0%
無駄なものを造っていると思う時がある	19	14.4%	24	12.9%	43	13.5%
その他(具体的に)	12	9.1%	7	3.8%	19	6.0%
合計	132	100.0%	186	100.0%	318	100.0%

表28-3

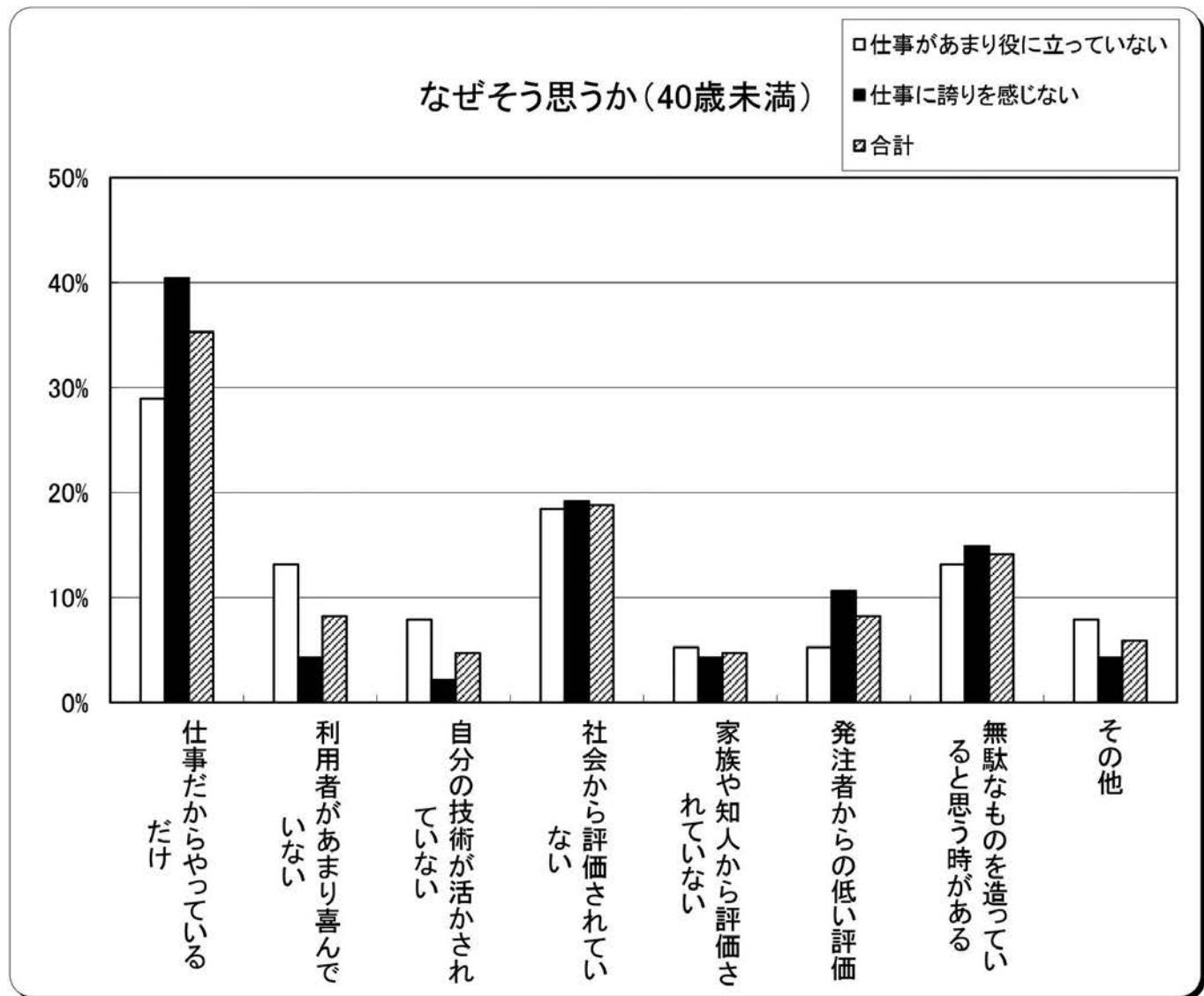
### なぜそう思うか(全体)

□あまり役に立っていない  
■誇りを感じない  
▨合計



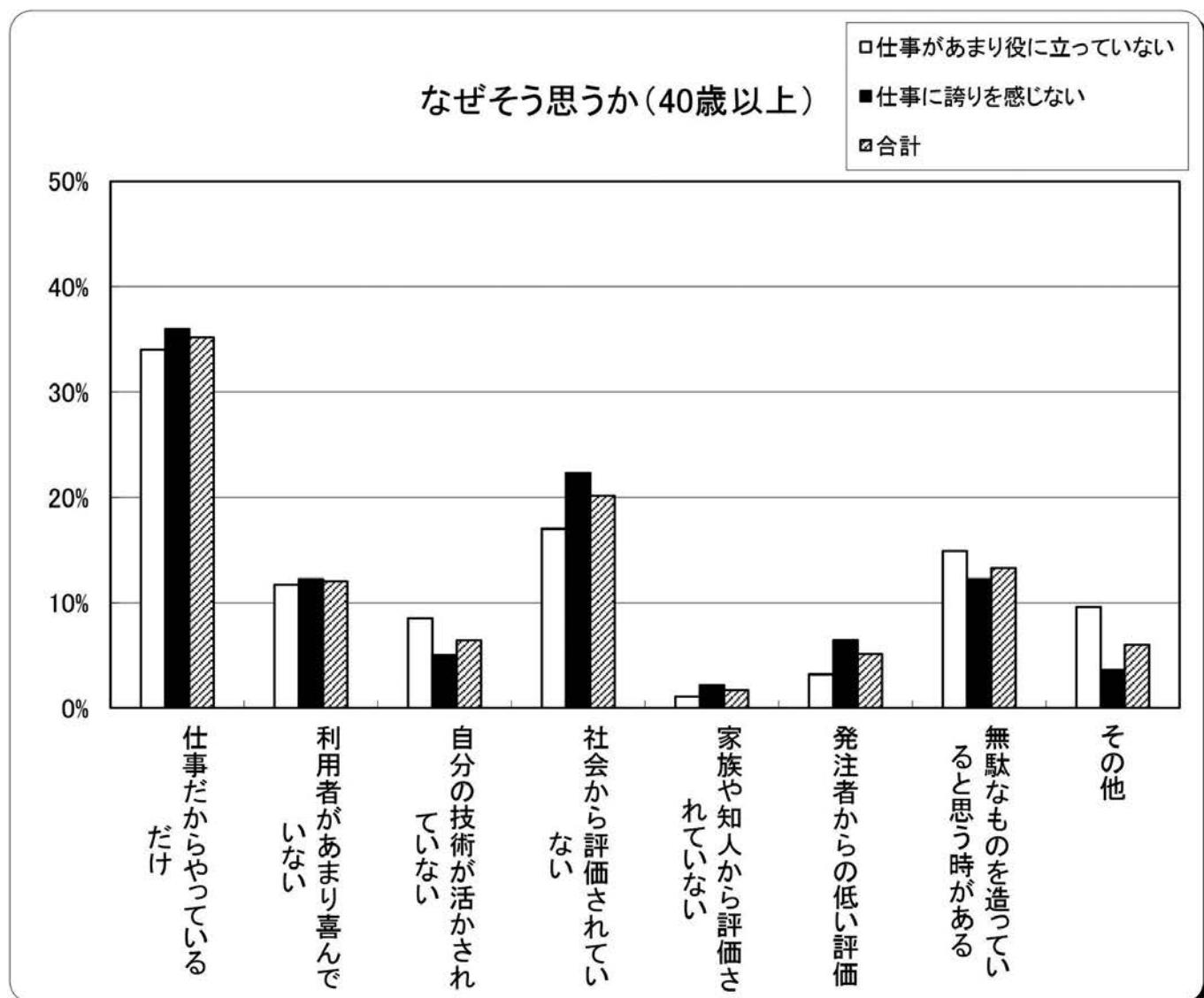
## 40歳未満

なぜそう思うか	仕事があまり役に立っていない	仕事に誇りを感じない	合計
仕事だからやっているだけ	11 28.9%	19 40.4%	30 35.3%
利用者があまり喜んでいない	5 13.2%	2 4.3%	7 8.2%
自分の技術が活かされていない	3 7.9%	1 2.1%	4 4.7%
社会から評価されていない(悪く言わされることもある)	7 18.4%	9 19.1%	16 18.8%
家族や知人から評価されていない	2 5.3%	2 4.3%	4 4.7%
発注者からの低い評価	2 5.3%	5 10.6%	7 8.2%
無駄なものを造っていると思う時がある	5 13.2%	7 14.9%	12 14.1%
その他(具体的に)	3 7.9%	2 4.3%	5 5.9%
合計	38 100.0%	47 100.0%	85 100.0%



## 40歳以上

なぜそう思うか	仕事があまり役に立っていない		仕事に誇りを感じない		合計	
仕事だからやっているだけ	32	34.0%	50	36.0%	82	35.2%
利用者があまり喜んでいない	11	11.7%	17	12.2%	28	12.0%
自分の技術が活かされていない	8	8.5%	7	5.0%	15	6.4%
社会から評価されていない(悪く言われることもある)	16	17.0%	31	22.3%	47	20.2%
家族や知人から評価されていない	1	1.1%	3	2.2%	4	1.7%
発注者からの低い評価	3	3.2%	9	6.5%	12	5.2%
無駄なものを造っていると思う時がある	14	14.9%	17	12.2%	31	13.3%
その他(具体的に)	9	9.6%	5	3.6%	14	6.0%
合計	94	100.0%	139	100.0%	233	100.0%



### 問28-3 その他の回答

#### 問28 3. あまり役に立っていないを選択された方の回答

- |   |   |
|---|---|
| ・まだ未熟すぎて                                | 1 |
| ・監督としての経験が少なく仕事ができない。                   | 1 |
| ・施工・工程・原価管理など興味はあるが経験が少ないと、自信につながらないです。 | 1 |
| ・年度末など予算の使い方に疑問を持つ。                     | 1 |

#### 問28-1 3. あまり感じないを選択された方の回答

- |   |   |
|---|---|
| ・目標として、公共工事を主に行っている自分の仕事を通じて、地域住民・発注者・自社の3方のメリットを追求している。誇り持つためにおこなっているのではなく、義務感(使命感)を強く感じる。 | 1 |
| ・会社から評価されていない。設計金額は上昇したり、利益率が良くても給与が一向に上昇しない。   | 1 |
| ・要求事項が多い  | 1 |
| ・一般の人からの評価を聞いたことがないから。  | 1 |
| ・誇りとは何をもって誇りというか分らない  | 1 |
| ・国民の安全や利便性の向上の為に現場一丸となって一生懸命仕事をしているが国民からは苦情を言われ発注者からは圧力をかけられ、また儲からない。                       | 1 |
| ・夢が持てる仕事内容ではない。その割に、責任は重く、休日返上などで私生活も縛られることが多い。   | 1 |

問29. 貴方は土木技術者として、働く上で何が重要だと思いますか

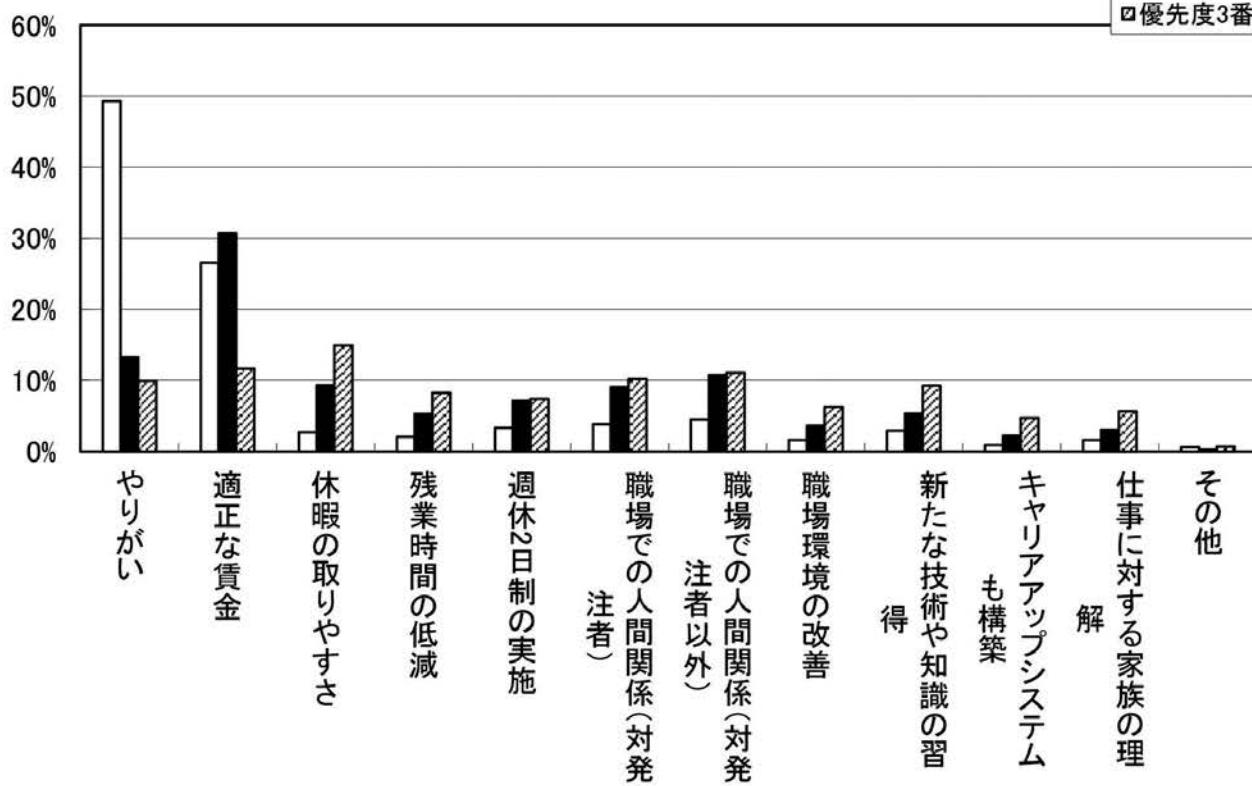
全体

働く上で何が重要か	優先度1番目	優先度2番目	優先度3番目			
やりがい(仕事内容や技術力が活かせるなど)	1052	49.3%	283	13.3%	211	9.9%
適正な賃金	567	26.6%	655	30.7%	249	11.7%
休暇の取りやすさ(週休2日にはこだわらない)	58	2.7%	199	9.3%	318	14.9%
残業時間の低減	44	2.1%	113	5.3%	176	8.2%
週休2日制の実施	71	3.3%	152	7.1%	158	7.4%
職場での人間関係(対発注者)	82	3.8%	194	9.1%	217	10.2%
職場での人間関係(対発注者以外)	96	4.5%	229	10.7%	237	11.1%
職場環境(安全対策、清潔な職場など)の改善	35	1.6%	77	3.6%	134	6.3%
新たな技術や知識の習得	62	2.9%	114	5.3%	198	9.3%
キャリアアップシステム(将来設計)の構築	19	0.9%	48	2.2%	101	4.7%
仕事に対する家族の理解	35	1.6%	65	3.0%	120	5.6%
その他(具体的に)	13	0.6%	5	0.2%	15	0.7%
合計	2134	100.0%	2134	100.0%	2134	100.0%

表29

働く上で何が重要か(全体)

□優先度1番目  
■優先度2番目  
▨優先度3番目



1番目を選択した人の2番目、3番目の選択

働く上で何が重要か	やりがい				適正な賃金			
	2番目		3番目		2番目		3番目	
やりがい(仕事内容や技術力が活かせるなど)	2	0.2%	3	0.3%	164	28.9%	97	17.1%
適正な賃金	507	48.2%	148	14.1%	6	1.1%	7	1.2%
休暇の取りやすさ(週休2日にはこだわらない)	54	5.1%	200	19.0%	116	20.5%	75	13.2%
残業時間の低減	27	2.6%	64	6.1%	58	10.2%	70	12.3%
週休2日制の実施	34	3.2%	71	6.7%	90	15.9%	58	10.2%
職場での人間関係(対発注者)	109	10.4%	119	11.3%	31	5.5%	60	10.6%
職場での人間関係(対発注者以外)	124	11.8%	132	12.5%	53	9.3%	61	10.8%
職場環境(安全対策、清潔な職場など)の改善	42	4.0%	71	6.7%	13	2.3%	38	6.7%
新たな技術や知識の習得	86	8.2%	119	11.3%	9	1.6%	44	7.8%
キャリアアップシステム(将来設計)の構築	26	2.5%	58	5.5%	14	2.5%	23	4.1%
仕事に対する家族の理解	39	3.7%	63	6.0%	13	2.3%	30	5.3%
その他(具体的に)	2	0.2%	4	0.4%	0	0.0%	4	0.7%
合計	1052	100.0%	1052	100.0%	567	100.0%	567	100.0%

働く上で何が重要か	休暇の取りやすさ				残業時間の低減			
	2番目		3番目		2番目		3番目	
やりがい(仕事内容や技術力が活かせるなど)	5	8.6%	14	24.1%	3	6.8%	10	22.7%
適正な賃金	25	43.1%	10	17.2%	14	31.8%	11	25.0%
休暇の取りやすさ(週休2日にはこだわらない)	0	0.0%	0	0.0%	5	11.4%	5	11.4%
残業時間の低減	8	13.8%	9	15.5%	0	0.0%	0	0.0%
週休2日制の実施	3	5.2%	2	3.4%	11	25.0%	5	11.4%
職場での人間関係(対発注者)	5	8.6%	4	6.9%	2	4.5%	4	9.1%
職場での人間関係(対発注者以外)	4	6.9%	7	12.1%	4	9.1%	3	6.8%
職場環境(安全対策、清潔な職場など)の改善	4	6.9%	4	6.9%	3	6.8%	1	2.3%
新たな技術や知識の習得	1	1.7%	1	1.7%	0	0.0%	1	2.3%
キャリアアップシステム(将来設計)の構築	1	1.7%	3	5.2%	0	0.0%	2	4.5%
仕事に対する家族の理解	2	3.4%	3	5.2%	2	4.5%	1	2.3%
その他(具体的に)	0	0.0%	1	1.7%	0	0.0%	1	2.3%
合計	58	100.0%	58	100.0%	44	100.0%	44	100.0%

働く上で何が重要か	週休2日制の実施				職場での人間関係 (対発注者)			
	2番目		3番目		2番目		3番目	
やりがい(仕事内容や技術力が活かせるなど)	10	14.1%	19	26.8%	20	24.4%	15	18.3%
適正な賃金	35	49.3%	9	12.7%	11	13.4%	19	23.2%
休暇の取りやすさ(週休2日にはこだわらない)	8	11.3%	4	5.6%	3	3.7%	6	7.3%
残業時間の低減	9	12.7%	13	18.3%	5	6.1%	1	1.2%
週休2日制の実施	1	1.4%	1	1.4%	3	3.7%	6	7.3%
職場での人間関係(対発注者)	3	4.2%	9	12.7%	0	0.0%	0	0.0%
職場での人間関係(対発注者以外)	2	2.8%	8	11.3%	29	35.4%	6	7.3%
職場環境(安全対策、清潔な職場など)の改善	1	1.4%	1	1.4%	4	4.9%	6	7.3%
新たな技術や知識の習得	2	2.8%	3	4.2%	4	4.9%	12	14.6%
キャリアアップシステム(将来設計)の構築	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.7%
仕事に対する家族の理解	0	0.0%	4	5.6%	3	3.7%	8	9.8%
その他(具体的に)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	71	100.0%	71	100.0%	82	100.0%	82	100.0%

働く上で何が重要か	職場での人間関係 (対発注者以外)				職場環境の改善			
	2番目		3番目		2番目		3番目	
やりがい(仕事内容や技術力が活かせるなど)	27	28.1%	24	25.0%	8	22.9%	4	11.4%
適正な賃金	23	24.0%	15	15.6%	7	20.0%	5	14.3%
休暇の取りやすさ(週休2日にはこだわらない)	3	3.1%	13	13.5%	3	8.6%	5	14.3%
残業時間の低減	6	6.3%	5	5.2%	0	0.0%	4	11.4%
週休2日制の実施	3	3.1%	6	6.3%	1	2.9%	1	2.9%
職場での人間関係(対発注者)	27	28.1%	3	3.1%	8	22.9%	2	5.7%
職場での人間関係(対発注者以外)	0	0.0%	0	0.0%	3	8.6%	5	14.3%
職場環境(安全対策、清潔な職場など)の改善	3	3.1%	6	6.3%	0	0.0%	0	0.0%
新たな技術や知識の習得	3	3.1%	13	13.5%	5	14.3%	4	11.4%
キャリアアップシステム(将来設計)の構築	0	0.0%	5	5.2%	0	0.0%	3	8.6%
仕事に対する家族の理解	1	1.0%	5	5.2%	0	0.0%	2	5.7%
その他(具体的に)	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	96	100.0%	96	100.0%	35	100.0%	35	100.0%

働く上で何が重要か	新たな技術や知識の習得				キャリアアップシステムの構築			
	2番目		3番目		2番目		3番目	
やりがい(仕事内容や技術力が活かせるなど)	23	37.1%	11	17.7%	8	42.1%	3	15.8%
適正な賃金	9	14.5%	11	17.7%	3	15.8%	6	31.6%
休暇の取りやすさ(週休2日にはこだわらない)	3	4.8%	5	8.1%	1	5.3%	2	10.5%
残業時間の低減	0	0.0%	4	6.5%	0	0.0%	2	10.5%
週休2日制の実施	5	8.1%	3	4.8%	0	0.0%	2	10.5%
職場での人間関係(対発注者)	6	9.7%	10	16.1%	1	5.3%	1	5.3%
職場での人間関係(対発注者以外)	2	3.2%	7	11.3%	1	5.3%	1	5.3%
職場環境(安全対策、清潔な職場など)の改善	6	9.7%	4	6.5%	1	5.3%	2	10.5%
新たな技術や知識の習得	1	1.6%	0	0.0%	2	10.5%	0	0.0%
キャリアアップシステム(将来設計)の構築	4	6.5%	3	4.8%	0	0.0%	0	0.0%
仕事に対する家族の理解	3	4.8%	4	6.5%	2	10.5%	0	0.0%
その他(具体的に)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	62	100.0%	62	100.0%	19	100.0%	19	100.0%

働く上で何が重要か	仕事に対する家族の理解				その他			
	2番目		3番目		2番目		3番目	
やりがい(仕事内容や技術力が活かせるなど)	10	28.6%	11	31.4%	3	23.1%	0	0.0%
適正な賃金	10	28.6%	7	20.0%	5	38.5%	1	7.7%
休暇の取りやすさ(週休2日にはこだわらない)	3	8.6%	0	0.0%	0	0.0%	3	23.1%
残業時間の低減	0	0.0%	2	5.7%	0	0.0%	2	15.4%
週休2日制の実施	0	0.0%	3	8.6%	1	7.7%	0	0.0%
職場での人間関係(対発注者)	1	2.9%	5	14.3%	1	7.7%	0	0.0%
職場での人間関係(対発注者以外)	7	20.0%	6	17.1%	0	0.0%	1	7.7%
職場環境(安全対策、清潔な職場など)の改善	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.7%
新たな技術や知識の習得	1	2.9%	1	2.9%	0	0.0%	0	0.0%
キャリアアップシステム(将来設計)の構築	3	8.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.7%
仕事に対する家族の理解	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他(具体的に)	0	0.0%	0	0.0%	3	23.1%	4	30.8%
合計	35	100.0%	35	100.0%	13	100.0%	13	100.0%

問29. 貴方は土木技術者として、働く上で何が重要だと思いますか

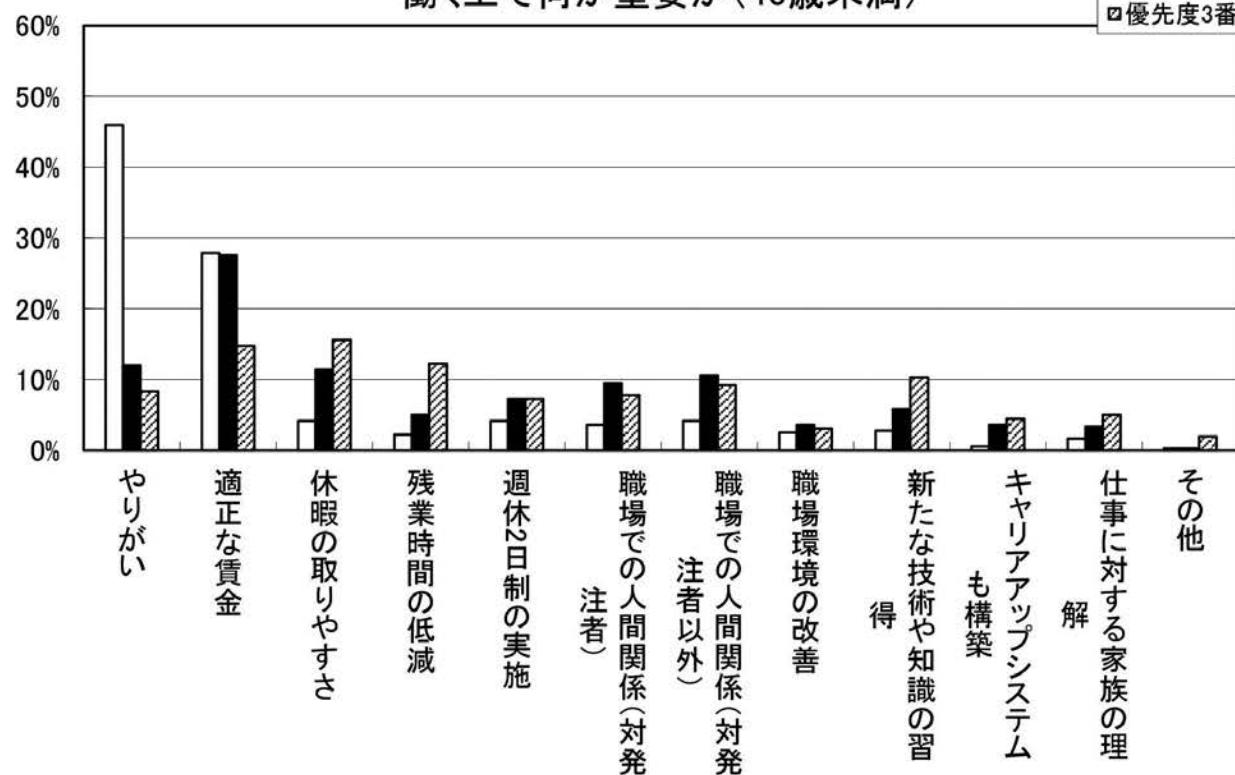
40歳未満

働く上で何が重要か	優先度1番目	優先度2番目	優先度3番目
やりがい(仕事内容や技術力が活かせるなど)	165 46.0%	43 12.0%	30 8.4%
適正な賃金	100 27.9%	99 27.6%	53 14.8%
休暇の取りやすさ(週休2日にはこだわらない)	15 4.2%	41 11.4%	56 15.6%
残業時間の低減	8 2.2%	18 5.0%	44 12.3%
週休2日制の実施	15 4.2%	26 7.2%	26 7.2%
職場での人間関係(対発注者)	13 3.6%	34 9.5%	28 7.8%
職場での人間関係(対発注者以外)	15 4.2%	38 10.6%	33 9.2%
職場環境(安全対策、清潔な職場など)の改善	9 2.5%	13 3.6%	11 3.1%
新たな技術や知識の習得	10 2.8%	21 5.8%	37 10.3%
キャリアアップシステム(将来設計)の構築	2 0.6%	13 3.6%	16 4.5%
仕事に対する家族の理解	6 1.7%	12 3.3%	18 5.0%
その他(具体的に)	1 0.3%	1 0.3%	7 1.9%
合計	359 100.0%	359 100.0%	359 100.0%

表29

働く上で何が重要か(40歳未満)

□優先度1番目  
■優先度2番目  
▨優先度3番目



1番目を選択した人の2番目、3番目の選択

働く上で何が重要か	やりがい				適正な賃金			
	2番目		3番目		2番目		3番目	
やりがい(仕事内容や技術力が活かせるなど)	0	0.0%	0	0.0%	26	26.0%	12	12.0%
適正な賃金	70	42.4%	33	20.0%	3	3.0%	3	3.0%
休暇の取りやすさ(週休2日にはこだわらない)	10	6.1%	37	22.4%	28	28.0%	11	11.0%
残業時間の低減	4	2.4%	16	9.7%	8	8.0%	18	18.0%
週休2日制の実施	7	4.2%	12	7.3%	12	12.0%	7	7.0%
職場での人間関係(対発注者)	17	10.3%	10	6.1%	5	5.0%	9	9.0%
職場での人間関係(対発注者以外)	17	10.3%	14	8.5%	9	9.0%	8	8.0%
職場環境(安全対策、清潔な職場など)の改善	8	4.8%	3	1.8%	1	1.0%	6	6.0%
新たな技術や知識の習得	17	10.3%	23	13.9%	1	1.0%	9	9.0%
キャリアアップシステム(将来設計)の構築	9	5.5%	8	4.8%	3	3.0%	6	6.0%
仕事に対する家族の理解	6	3.6%	9	5.5%	4	4.0%	7	7.0%
その他(具体的に)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	4.0%
合計	165	100.0%	165	100.0%	100	100.0%	100	100.0%

働く上で何が重要か	休暇の取りやすさ				残業時間の低減			
	2番目		3番目		2番目		3番目	
やりがい(仕事内容や技術力が活かせるなど)	1	6.7%	2	13.3%	1	12.5%	1	12.5%
適正な賃金	4	26.7%	4	26.7%	3	37.5%	0	0.0%
休暇の取りやすさ(週休2日にはこだわらない)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	12.5%
残業時間の低減	3	20.0%	3	20.0%	0	0.0%	0	0.0%
週休2日制の実施	2	13.3%	1	6.7%	2	25.0%	2	25.0%
職場での人間関係(対発注者)	2	13.3%	1	6.7%	0	0.0%	1	12.5%
職場での人間関係(対発注者以外)	3	20.0%	2	13.3%	1	12.5%	0	0.0%
職場環境(安全対策、清潔な職場など)の改善	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	1	12.5%
新たな技術や知識の習得	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
キャリアアップシステム(将来設計)の構築	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
仕事に対する家族の理解	0	0.0%	0	0.0%	1	12.5%	1	12.5%
その他(具体的に)	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	1	12.5%
合計	15	100.0%	15	100.0%	8	100.0%	8	100.0%

働く上で何が重要か	週休2日制の実施				職場での人間関係 (対発注者)			
	2番目		3番目		2番目		3番目	
やりがい(仕事内容や技術力が活かせるなど)	2	13.3%	4	26.7%	2	15.4%	2	15.4%
適正な賃金	12	80.0%	1	6.7%	1	7.7%	5	38.5%
休暇の取りやすさ(週休2日にはこだわらない)	0	0.0%	2	13.3%	1	7.7%	2	15.4%
残業時間の低減	0	0.0%	4	26.7%	1	7.7%	0	0.0%
週休2日制の実施	0	0.0%	0	0.0%	1	7.7%	1	7.7%
職場での人間関係(対発注者)	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
職場での人間関係(対発注者以外)	0	0.0%	3	20.0%	4	30.8%	0	0.0%
職場環境(安全対策、清潔な職場など)の改善	0	0.0%	0	0.0%	2	15.4%	0	0.0%
新たな技術や知識の習得	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	2	15.4%
キャリアアップシステム(将来設計)の構築	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
仕事に対する家族の理解	0	0.0%	0	0.0%	1	7.7%	1	7.7%
その他(具体的に)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	15	100.0%	15	100.0%	13	100.0%	13	100.0%

働く上で何が重要か	職場での人間関係 (対発注者以外)				職場環境の改善			
	2番目		3番目		2番目		3番目	
やりがい(仕事内容や技術力が活かせるなど)	3	20.0%	6	40.0%	4	44.4%	1	11.1%
適正な賃金	3	20.0%	3	20.0%	0	0.0%	1	11.1%
休暇の取りやすさ(週休2日にはこだわらない)	1	6.7%	1	6.7%	1	11.1%	1	11.1%
残業時間の低減	2	13.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	22.2%
週休2日制の実施	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%
職場での人間関係(対発注者)	4	26.7%	2	13.3%	3	33.3%	1	11.1%
職場での人間関係(対発注者以外)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
職場環境(安全対策、清潔な職場など)の改善	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	3	33.3%
新たな技術や知識の習得	1	6.7%	1	6.7%	1	11.1%	0	0.0%
キャリアアップシステム(将来設計)の構築	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%
仕事に対する家族の理解	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他(具体的に)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	15	100.0%	15	100.0%	9	100.0%	9	100.0%

働く上で何が重要か	新たな技術や知識の習得				キャリアアップシステムの構築			
	2番目		3番目		2番目		3番目	
やりがい(仕事内容や技術力が活かせるなど)	2	20.0%	1	10.0%	1	50.0%	0	0.0%
適正な賃金	0	0.0%	2	20.0%	0	0.0%	0	0.0%
休暇の取りやすさ(週休2日にはこだわらない)	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%
残業時間の低減	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%
週休2日制の実施	2	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%
職場での人間関係(対発注者)	2	20.0%	2	20.0%	0	0.0%	1	50.0%
職場での人間関係(対発注者以外)	1	10.0%	2	20.0%	1	50.0%	0	0.0%
職場環境(安全対策、清潔な職場など)の改善	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
新たな技術や知識の習得	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
キャリアアップシステム(将来設計)の構築	1	10.0%	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%
仕事に対する家族の理解	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他(具体的に)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	10	100.0%	10	100.0%	2	100.0%	2	100.0%

働く上で何が重要か	仕事に対する家族の理解				その他			
	2番目		3番目		2番目		3番目	
やりがい(仕事内容や技術力が活かせるなど)	1	16.7%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%
適正な賃金	3	50.0%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%
休暇の取りやすさ(週休2日にはこだわらない)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
残業時間の低減	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
週休2日制の実施	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%
職場での人間関係(対発注者)	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%
職場での人間関係(対発注者以外)	2	33.3%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%
職場環境(安全対策、清潔な職場など)の改善	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
新たな技術や知識の習得	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%
キャリアアップシステム(将来設計)の構築	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
仕事に対する家族の理解	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他(具体的に)	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	1	100.0%
合計	6	100.0%	6	100.0%	1	100.0%	1	100.0%

問29. 貴方は土木技術者として、働く上で何が重要だと思いますか

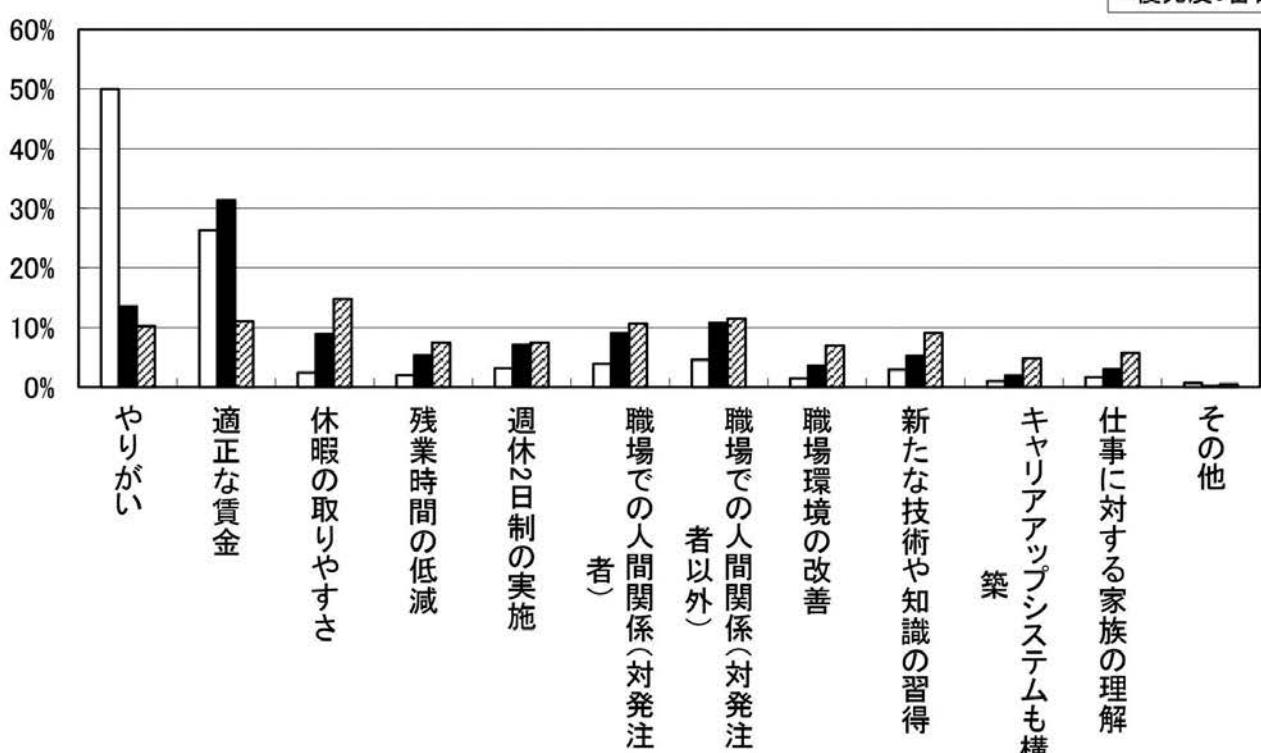
40歳以上

働く上で何が重要か	優先度1番目	優先度2番目	優先度3番目
やりがい(仕事内容や技術力が活かせるなど)	887 50.0%	240 13.5%	181 10.2%
適正な賃金	467 26.3%	556 31.3%	196 11.0%
休暇の取りやすさ(週休2日にはこだわらない)	43 2.4%	158 8.9%	262 14.8%
残業時間の低減	36 2.0%	95 5.4%	132 7.4%
週休2日制の実施	56 3.2%	126 7.1%	132 7.4%
職場での人間関係(対発注者)	69 3.9%	160 9.0%	189 10.6%
職場での人間関係(対発注者以外)	81 4.6%	191 10.8%	204 11.5%
職場環境(安全対策、清潔な職場など)の改善	26 1.5%	64 3.6%	123 6.9%
新たな技術や知識の習得	52 2.9%	93 5.2%	161 9.1%
キャリアアップシステム(将来設計)の構築	17 1.0%	35 2.0%	85 4.8%
仕事に対する家族の理解	29 1.6%	53 3.0%	102 5.7%
その他(具体的に)	12 0.7%	4 0.2%	8 0.5%
合計	1775 100.0%	1775 100.0%	1775 100.0%

表29

働く上で何が重要か(40歳以上)

□優先度1番目  
■優先度2番目  
▨優先度3番目



1番目を選択した人の2番目、3番目の選択

働く上で何が重要か	やりがい				適正な賃金			
	2番目		3番目		2番目		3番目	
やりがい(仕事内容や技術力が活かせるなど)	2	0.2%	3	0.3%	138	29.6%	85	18.2%
適正な賃金	437	49.3%	115	13.0%	3	0.6%	4	0.9%
休暇の取りやすさ(週休2日にはこだわらない)	44	5.0%	163	18.4%	88	18.8%	64	13.7%
残業時間の低減	23	2.6%	48	5.4%	50	10.7%	52	11.1%
週休2日制の実施	27	3.0%	59	6.7%	78	16.7%	51	10.9%
職場での人間関係(対発注者)	92	10.4%	109	12.3%	26	5.6%	51	10.9%
職場での人間関係(対発注者以外)	107	12.1%	118	13.3%	44	9.4%	53	11.3%
職場環境(安全対策、清潔な職場など)の改善	34	3.8%	68	7.7%	12	2.6%	32	6.9%
新たな技術や知識の習得	69	7.8%	96	10.8%	8	1.7%	35	7.5%
キャリアアップシステム(将来設計)の構築	17	1.9%	50	5.6%	11	2.4%	17	3.6%
仕事に対する家族の理解	33	3.7%	54	6.1%	9	1.9%	23	4.9%
その他(具体的に)	2	0.2%	4	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
合計	887	100.0%	887	100.0%	467	100.0%	467	100.0%

働く上で何が重要か	休暇の取りやすさ				残業時間の低減			
	2番目		3番目		2番目		3番目	
やりがい(仕事内容や技術力が活かせるなど)	4	9.3%	12	27.9%	2	5.6%	9	25.0%
適正な賃金	21	48.8%	6	14.0%	11	30.6%	11	30.6%
休暇の取りやすさ(週休2日にはこだわらない)	0	0.0%	0	0.0%	5	13.9%	4	11.1%
残業時間の低減	5	11.6%	6	14.0%	0	0.0%	0	0.0%
週休2日制の実施	1	2.3%	1	2.3%	9	25.0%	3	8.3%
職場での人間関係(対発注者)	3	7.0%	3	7.0%	2	5.6%	3	8.3%
職場での人間関係(対発注者以外)	1	2.3%	5	11.6%	3	8.3%	3	8.3%
職場環境(安全対策、清潔な職場など)の改善	4	9.3%	3	7.0%	3	8.3%	0	0.0%
新たな技術や知識の習得	1	2.3%	1	2.3%	0	0.0%	1	2.8%
キャリアアップシステム(将来設計)の構築	1	2.3%	3	7.0%	0	0.0%	2	5.6%
仕事に対する家族の理解	2	4.7%	3	7.0%	1	2.8%	0	0.0%
その他(具体的に)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	43	100.0%	43	100.0%	36	100.0%	36	100.0%

働く上で何が重要か	週休2日制の実施				職場での人間関係 (対発注者)			
	2番目		3番目		2番目		3番目	
やりがい(仕事内容や技術力が活かせるなど)	8	14.3%	15	26.8%	18	26.1%	13	18.8%
適正な賃金	23	41.1%	8	14.3%	10	14.5%	14	20.3%
休暇の取りやすさ(週休2日にはこだわらない)	8	14.3%	2	3.6%	2	2.9%	4	5.8%
残業時間の低減	9	16.1%	9	16.1%	4	5.8%	1	1.4%
週休2日制の実施	1	1.8%	1	1.8%	2	2.9%	5	7.2%
職場での人間関係(対発注者)	2	3.6%	9	16.1%	0	0.0%	0	0.0%
職場での人間関係(対発注者以外)	2	3.6%	5	8.9%	25	36.2%	6	8.7%
職場環境(安全対策、清潔な職場など)の改善	1	1.8%	1	1.8%	2	2.9%	6	8.7%
新たな技術や知識の習得	2	3.6%	2	3.6%	4	5.8%	10	14.5%
キャリアアップシステム(将来設計)の構築	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	4.3%
仕事に対する家族の理解	0	0.0%	4	7.1%	2	2.9%	7	10.1%
その他(具体的に)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	56	100.0%	56	100.0%	69	100.0%	69	100.0%

働く上で何が重要か	職場での人間関係 (対発注者以外)				職場環境の改善			
	2番目		3番目		2番目		3番目	
やりがい(仕事内容や技術力が活かせるなど)	24	29.6%	18	22.2%	4	15.4%	3	11.5%
適正な賃金	20	24.7%	12	14.8%	7	26.9%	4	15.4%
休暇の取りやすさ(週休2日にはこだわらない)	2	2.5%	12	14.8%	2	7.7%	4	15.4%
残業時間の低減	4	4.9%	5	6.2%	0	0.0%	2	7.7%
週休2日制の実施	3	3.7%	5	6.2%	1	3.8%	1	3.8%
職場での人間関係(対発注者)	23	28.4%	1	1.2%	5	19.2%	1	3.8%
職場での人間関係(対発注者以外)	0	0.0%	0	0.0%	3	11.5%	2	7.7%
職場環境(安全対策、清潔な職場など)の改善	2	2.5%	6	7.4%	0	0.0%	0	0.0%
新たな技術や知識の習得	2	2.5%	12	14.8%	4	15.4%	4	15.4%
キャリアアップシステム(将来設計)の構築	0	0.0%	4	4.9%	0	0.0%	3	11.5%
仕事に対する家族の理解	1	1.2%	5	6.2%	0	0.0%	2	7.7%
その他(具体的に)	0	0.0%	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
合計	81	100.0%	81	100.0%	26	100.0%	26	100.0%

働く上で何が重要か	新たな技術や知識の習得				キャリアアップシステムの構築			
	2番目		3番目		2番目		3番目	
やりがい(仕事内容や技術力が活かせるなど)	21	40.4%	10	19.2%	7	41.2%	3	17.6%
適正な賃金	9	17.3%	9	17.3%	3	17.6%	6	35.3%
休暇の取りやすさ(週休2日にはこだわらない)	3	5.8%	4	7.7%	1	5.9%	2	11.8%
残業時間の低減	0	0.0%	3	5.8%	0	0.0%	2	11.8%
週休2日制の実施	3	5.8%	3	5.8%	0	0.0%	1	5.9%
職場での人間関係(対発注者)	4	7.7%	8	15.4%	1	5.9%	0	0.0%
職場での人間関係(対発注者以外)	1	1.9%	5	9.6%	0	0.0%	1	5.9%
職場環境(安全対策、清潔な職場など)の改善	5	9.6%	4	7.7%	1	5.9%	2	11.8%
新たな技術や知識の習得	0	0.0%	0	0.0%	2	11.8%	0	0.0%
キャリアアップシステム(将来設計)の構築	3	5.8%	2	3.8%	0	0.0%	0	0.0%
仕事に対する家族の理解	3	5.8%	4	7.7%	2	11.8%	0	0.0%
その他(具体的に)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	52	100.0%	52	100.0%	17	100.0%	17	100.0%

働く上で何が重要か	仕事に対する家族の理解				その他			
	2番目		3番目		2番目		3番目	
やりがい(仕事内容や技術力が活かせるなど)	9	31.0%	10	34.5%	3	25.0%	0	0.0%
適正な賃金	7	24.1%	6	20.7%	5	41.7%	1	8.3%
休暇の取りやすさ(週休2日にはこだわらない)	3	10.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	25.0%
残業時間の低減	0	0.0%	2	6.9%	0	0.0%	2	16.7%
週休2日制の実施	0	0.0%	2	6.9%	1	8.3%	0	0.0%
職場での人間関係(対発注者)	1	3.4%	4	13.8%	1	8.3%	0	0.0%
職場での人間関係(対発注者以外)	5	17.2%	5	17.2%	0	0.0%	1	8.3%
職場環境(安全対策、清潔な職場など)の改善	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%
新たな技術や知識の習得	1	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
キャリアアップシステム(将来設計)の構築	3	10.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%
仕事に対する家族の理解	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他(具体的に)	0	0.0%	0	0.0%	2	16.7%	3	25.0%
合計	29	100.0%	29	100.0%	12	100.0%	12	100.0%

## 問29 その他の回答

### 優先度1番目にその他を選択された方の回答

・モチベーションと向上意欲	1
・企業の必要人材の確保	1
・勤務時間、勤務形態などの自由度	1
・建設業の知名度向上(例:災害時に消防・警察と共に活動しているとか。災害防止の予防をしていることをアピール)	1
・公共工事の増加	1
・国民、県民、発注者の方々に役立つもの提供すること。	1
・自負	1
・社会の理解	1
・責任の低減 現場技術者、特に現場代理人や現場所長の担う責任は、普通の職業と比べると異常に大きい。	1
・地元との調和、コミュニケーション	1
・土地(地域)を守るという心	1
・品質の良い構造物を提供すること。	1
・余裕のある工期設定(年度内完成にこだわらない)	1

### 優先度2番目にその他を選択された方の回答

・6と7は働く(業務履行の)うえでどちらも重要。どこかが悪くなればうまく回らなくなる。	1
・会社を運営するための資金の確保(手戻りなどでのロスを減らす)	1
・勤続年数	1
・自分も含めて社員の生活を守こと。	1
・社会貢献	1

### 優先度3番目にその他を選択された方の回答

・発注者の要望	1
・これからの中堅の技術者が育っていくこと。	1
・会社の就業規則の徹底化 就業規則がなくて困る	1
・経験	1
・建設業への雇用及び人材不足。	1
・後継ぎとして、やっていかなくてはならないから	1
・仕事に対する会社の理解	1
・仕事量の安定	1
・職場にて一人ひとりの仕事量の適正化(偏りがある)	1
・地域における技士としての立場やプライド	1
・地域活動や農業するとき休みがとりやすい等の会社のバックアップ	1
・土木技術者の仕事への社会全体の理解	1
・発注制度に監理技術者、又は現場代理人を2名体制を条件に発注して欲しい。兼務の現場は1人の為、休暇したくてもできない為。	1
・物作りの楽しさ	1
・遊びではないが、やりがいとは全く違う楽しさ	1

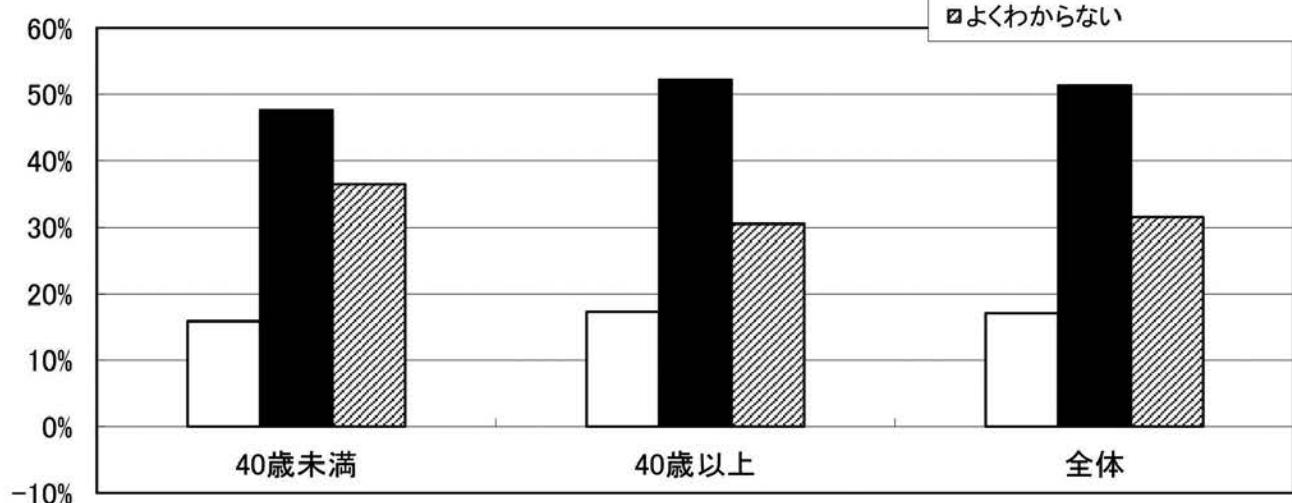
問30. 貴方はi-Constructionの推進等を通じた生産性向上に関係した仕事をやったことがありますか

i-Constructionの仕事	40歳未満		40歳以上		全体	
やったことがある	57	15.9%	307	17.3%	364	17.1%
やったことがないが知っている	171	47.6%	926	52.2%	1097	51.4%
i-Constructionのことがよくわからない	131	36.5%	542	30.5%	673	31.5%
合計	359	100.0%	1775	100.0%	2134	100.0%

表30

### i-Constructionの仕事

- やったことがある
- やったことがないが知っている
- ▨よくわからない



問30で以下に回答された方にお聞きします。建設現場の生産性向上に役立っていると思いますか

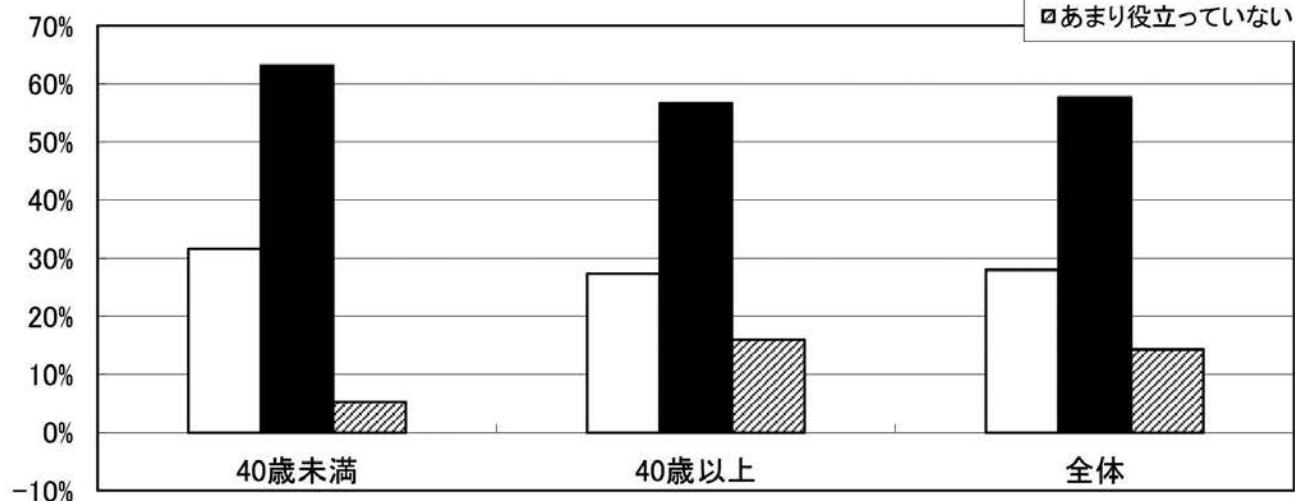
1. やったことがある

生産性向上に役立っているか	40歳未満	40歳以上	全体	
大いに役立っている	18	31.6%	84	27.4%
少しは役立っている	36	63.2%	174	56.7%
あまり役立っていない	3	5.3%	49	16.0%
合計	57	100.0%	307	100.0%
			364	100.0%

表30-1

### 生産性向上に役立っているか

- 大いに役立っている
- 少しは役立っている
- あまり役立っていない



問30で以下に回答された方にお聞きします。建設現場の生産性を向上させる対策項目として、次の中から選んで下さい

1. やったことがある
2. やったことがないが知っている

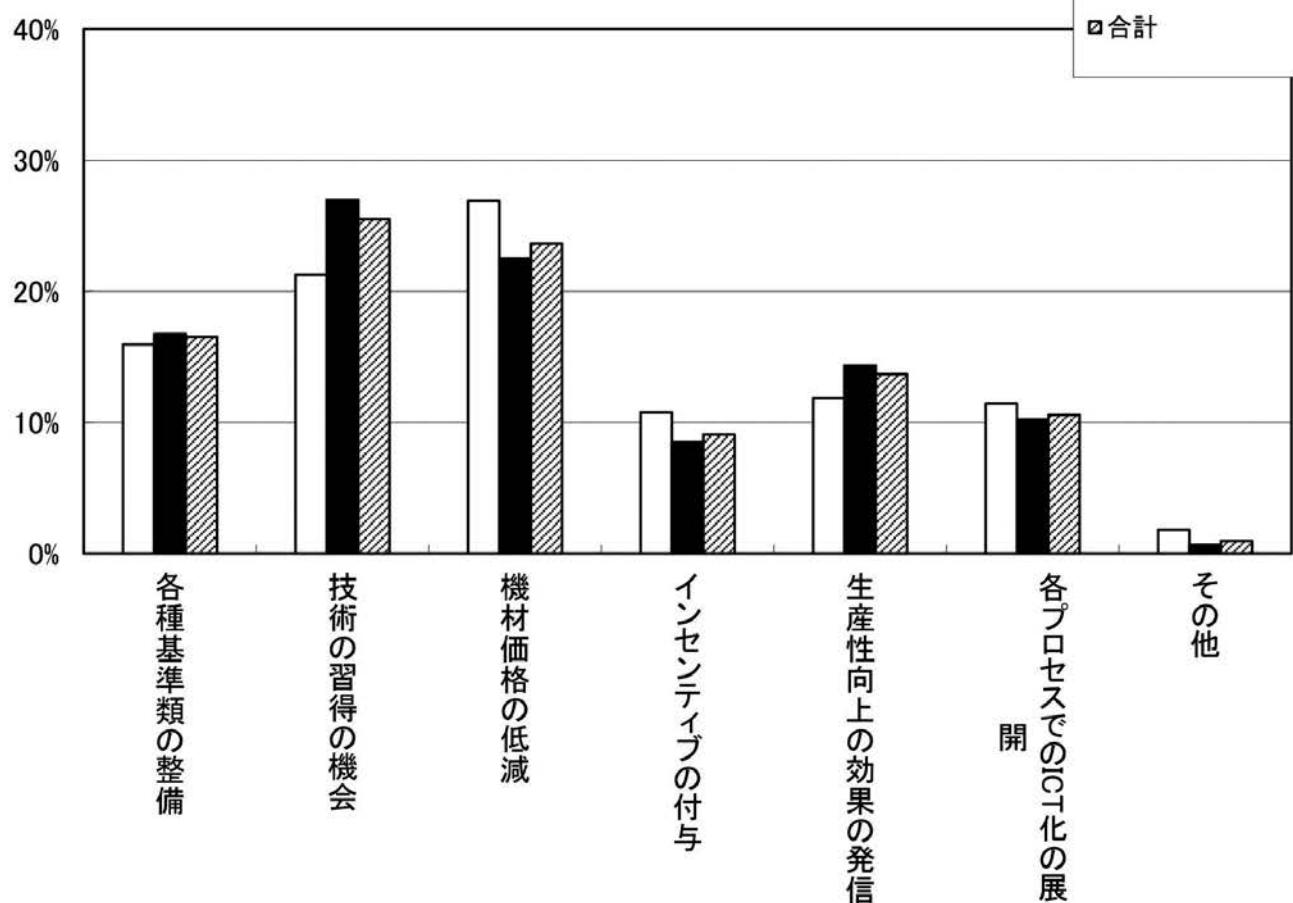
## 全体

生産性を向上させる対策項目	やったことがある	やったことがないが知っている	合計
各種基準類の整備	132	15.9%	396
技術の習得の機会	176	21.3%	638
機材価格の低減(外注費を含め)	223	26.9%	532
インセンティブの付与(入札、評価点等)	89	10.7%	201
生産性向上(i-Construction)の効果の発信	98	11.8%	339
各プロセスでのICT化の展開	95	11.5%	242
その他(具体的に)	15	1.8%	16
合計	828	100.0%	2364
			3192
			100.0%

表30-2

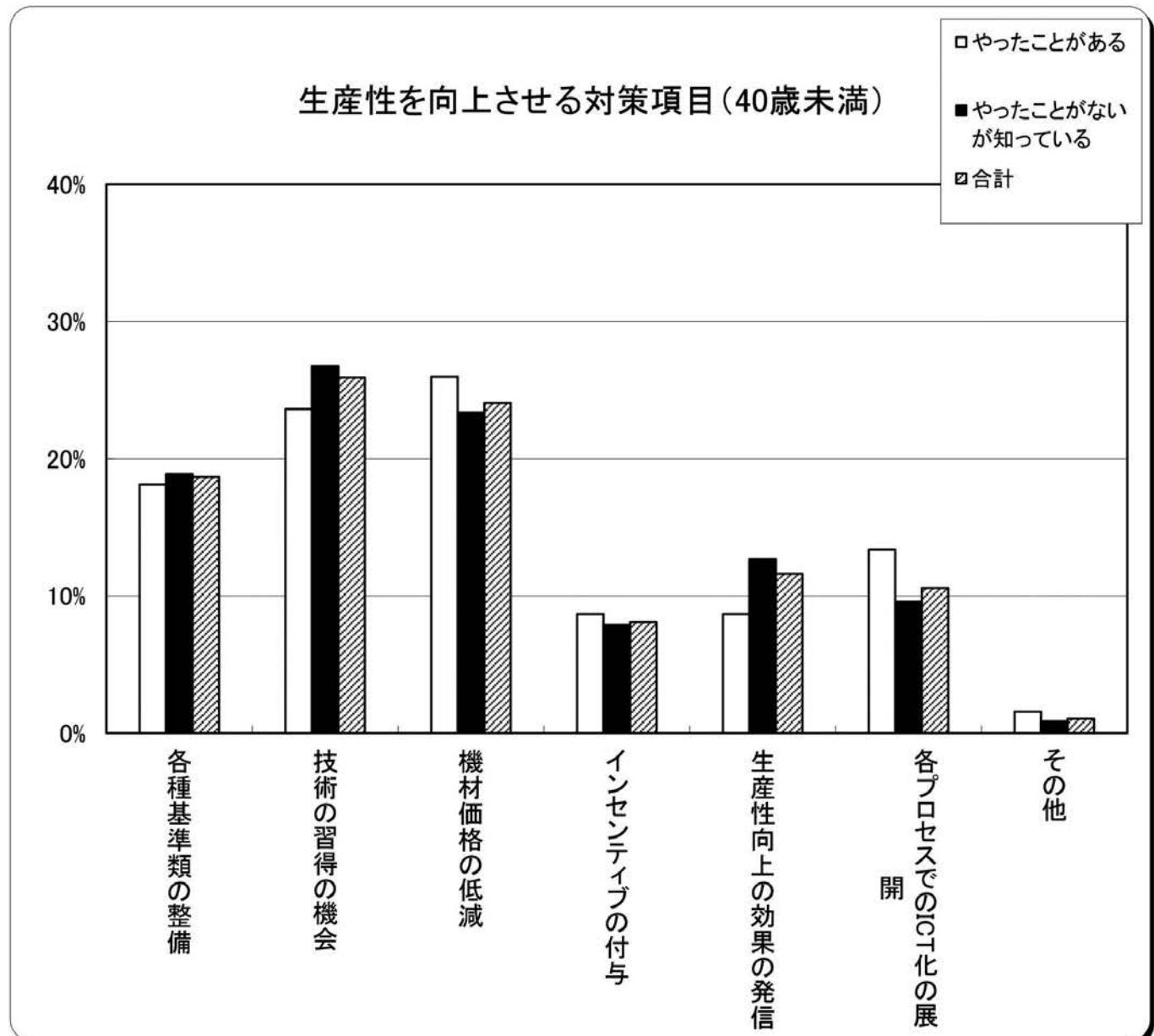
### 生産性を向上させる対策項目(全体)

やったことがある  
 やったことがない  
 が知っている  
 合計



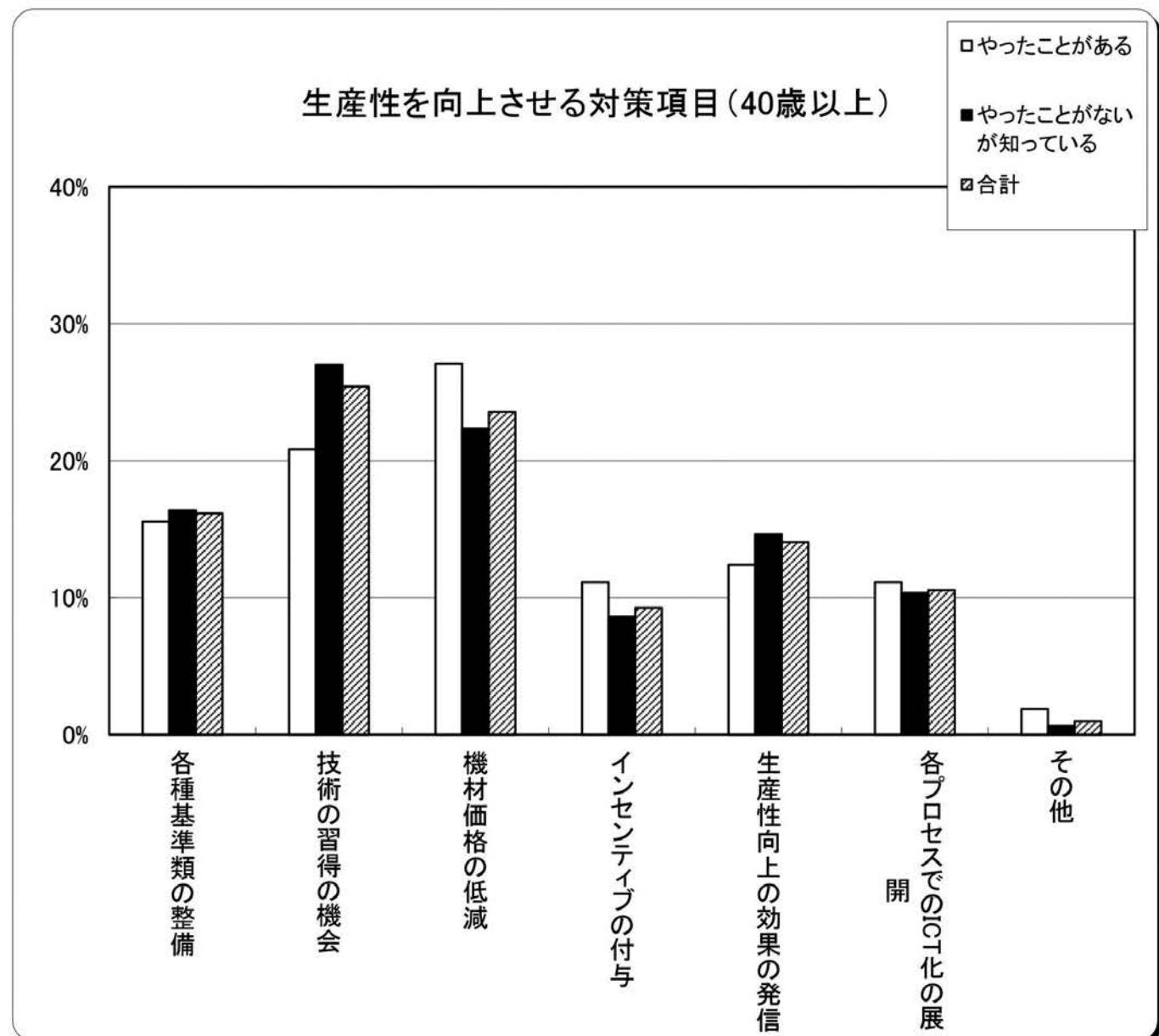
## 40歳未満

生産性を向上させる対策項目	やったことがある	やったことがないが知っている	合計
各種基準類の整備	23	18.1%	67
技術の習得の機会	30	23.6%	95
機材価格の低減(外注費を含め)	33	26.0%	83
インセンティブの付与(入札、評価点等)	11	8.7%	28
生産性向上(i-Construction)の効果の発信	11	8.7%	45
各プロセスでのICT化の展開	17	13.4%	34
その他(具体的に)	2	1.6%	3
<b>合計</b>	<b>127</b>	<b>100.0%</b>	<b>355</b>
			<b>482</b>
			<b>100.0%</b>



## 40歳以上

生産性を向上させる対策項目	やったことがある	やったことがないが知っている	合計
各種基準類の整備	109	15.5%	329
技術の習得の機会	146	20.8%	543
機材価格の低減(外注費を含め)	190	27.1%	449
インセンティブの付与(入札、評価点等)	78	11.1%	173
生産性向上(i-Construction)の効果の発信	87	12.4%	294
各プロセスでのICT化の展開	78	11.1%	208
その他(具体的に)	13	1.9%	13
合計	701	100.0%	2009
			100.0%
			2710
			100.0%



## 問30-2 その他の回答

### 1. やったことがあるを選択された方の回答

- ・ i-conの技術を生かせる現場の継続的な発注及び受注機会の創出。受注機会を増やすことによりi-conの普及及びコストの低減、i-con技術の発展に繋がる。 1
- ・ ICTばかり特化しており、施工時期の平準化が進んでいない。特に舗装工事は従前と何も変わっていない。 1
- ・ プレキャスト化により生産性の向上はあるが、どこまで現場採用が可能か、燃料の高騰運送業の労働者減少など影響を受ける範囲が大きい 1
- ・ 一般的に導入され始めた過渡期であるため致し方ないとは思うが、導入にあたり必要以上にハードルを上げようとする発注者がいるが、この時期だからこそ、発注者が主導的に導入を後押しして欲しい。 1
- ・ 起工測量、発注図の3D化を今は施工業者が行っている。ここに大きな労力が発生する。設計変更で計上してもらえるが委託業務でICT対応の発注がされていない。また、全面ICTで施工する分は予算が足りないからと言って一部分とされるが、最初に起工測量をやっているのでやるなら全部変更してほしい。 1
- ・ 互換性の確保 1
- ・ 実際ICT(ブル・バックホウ)を使用してみて、施工期間が土工量のわりに長く、機械損料が多く掛かってしまったので、そこを見直さない限り(官工程で使用日数を積算計上すると実際の費用と乖離がある)、他の方へはICTを勧められない。確かに良い技術だとは思うが。 1
- ・ 書類の簡素化 1
- ・ 詳細な設計図面による発注。図面が現地に合わず、ICT用に修正を加えることが多く、時間と手間がかかりすぎる。 1
- ・ 生産性向上の可能性はあるが、それを作成する手間を含めて総合的に考えた場合現時点ではそれほどの効果をないと考える。今後の運用したいでは生産性向上よりも低下のおそれもある。 1
- ・ 責任分担を明確にし、責任回避のためとなっている書類や各種手続き等を簡素化する。 1
- ・ 設計変更方法の整備。 1
- ・ 発注、設計変更の生産性向上。 1
- ・ 目的構造物以外については管理を削除したりしてもっと効率化をはかるべき。 1
- ・ 労務費の標準単価の倍増 1

### 2. やったことがないが知っているを選択された方の回答

- ・ 私は所謂「昔の技術者」ですが現在の建設現場の状況は人手不足に尽きるのではないかでしょうか？新規就労人口の若年層が1割程度ではITに頼っても付け焼刃に思えてなりません。業界全体の魅力アップについては、若者がやりたい、やってみたいと思う環境とはもっと建設業界、技術者、技能者のステータスを上げるしかないのではないかでしょうか？ITや、快適トイレ、おしゃれな作業服だけで魅力があがると思っている今の施策については疑問しかありません。まずは従事者を高給取りにして社会的地位を上げる方向にしなければ生産性は先細る一方に思えます。最近の若者の資質に問題があるのでなく、様々な結果魅力のない建設業にした我々がまず自分を見つめ直してから初めて若い人達が向き合ってくれると感じています。 1
- ・ もし、実施するのであれば業者主体ではなく発注者側(県)も協力的になってほしい。具体的には国交省みたいに積算基準を標準施工とは異なるようにする、実態調査による現状把握等。 1
- ・ 発注者側が対応・評価できる体制を整える 1
- ・ 気象(降雪、積雪)によりICTの施工ができない場合があり、対策を検討すべき。ICT工種を限定して、影響を受けない時期の工程になるように、発注時期を考慮するとか。 1
- ・ 技術者、作業従事者の確保と育成 1
- ・ 経費アップ 1
- ・ 限られた人員の中で、業務をあまり増やすことなく、ICT技術を導入しやすくすること。 1
- ・ 最終的には人の力が重要なので、働いて稼げるよう労基法の改正(週40時間)等の制約を緩めてほしい。建設業の末端は日給月給などの労務者が多いので、めいいっぱい働く環境を作つてほしい。 1
- ・ 書類の簡素化、 1
- ・ 新技術の総合的な価格の低減 1
- ・ 設計図書が3Dにならないため変換した設計図を作成する必要がある。上流から下流まですべて3Dデジタルとならなければ効果が薄く、施工会社が対応に苦慮する。 1
- ・ 中小規模な工事にも対応できる技術や価格設定が必要 1
- ・ 中小規模工事での活用効果 1
- ・ 発注者からの3次元測量データの提供 1
- ・ 発注者が機材価格を適正に支払ってください。(外注を含む) 1

問30、問30-1で以下に回答された方にお聞きします。i-Constructionについてどう思いますか

問30 2. やったことがないが知っている

問30 3. i-Constructionのことがよくわからない

問30-1 3. あまり役立っていない

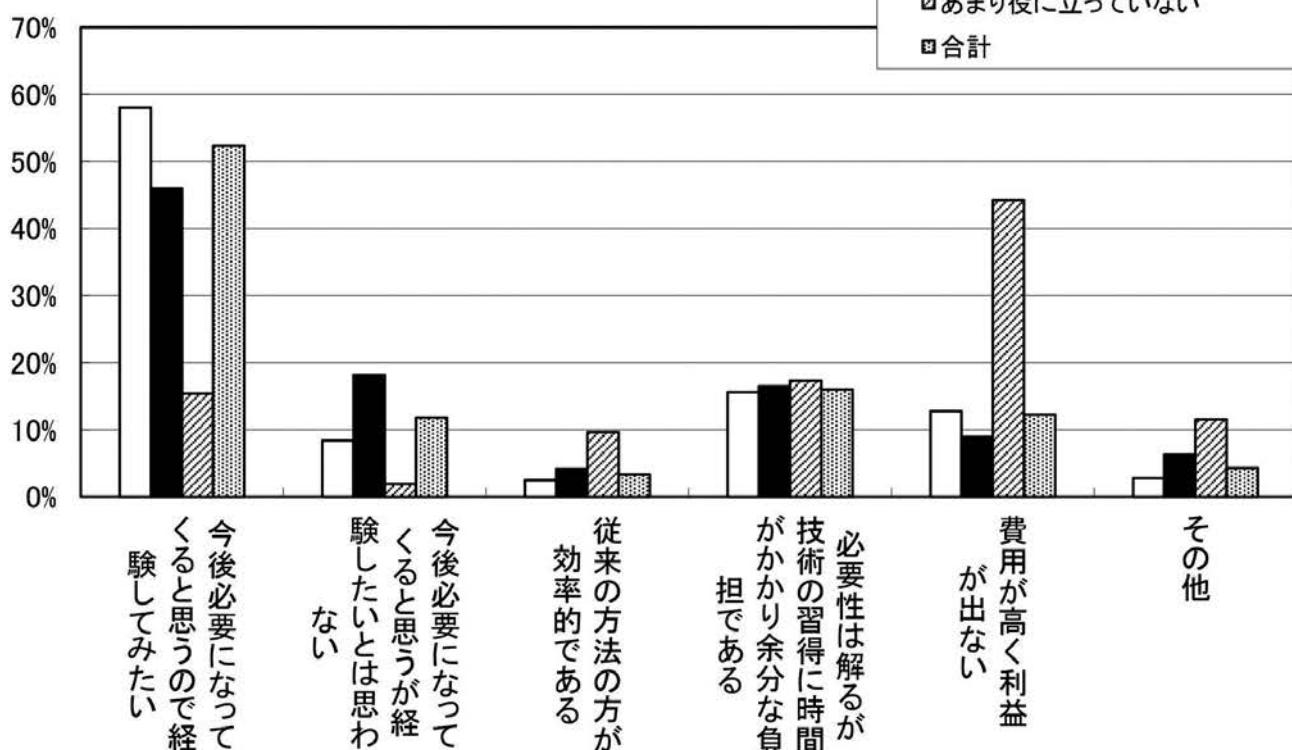
## 全体

i-Constructionについて	やったことがない が知っている	Constructionの ことがよくわから ない	あまり役に立つ ていない	合計
今後必要になってくると思うので経験してみたい	636 58.0%	309 46.0%	8 15.4%	953 52.4%
今後必要になってくると思うが経験したいとは思わない	92 8.4%	122 18.2%	1 1.9%	215 11.8%
従来の方法の方が効率的である	27 2.5%	28 4.2%	5 9.6%	60 3.3%
必要性は解るが技術の習得に時間がかかり余分な負担である	171 15.6%	111 16.5%	9 17.3%	291 16.0%
費用が高く利益が出ない	140 12.8%	60 8.9%	23 44.2%	223 12.3%
その他(具体的に)	30 2.7%	42 6.3%	6 11.5%	78 4.3%
合計	1096 100.0%	672 100.0%	52 100.0%	1820 100.0%

表30-3

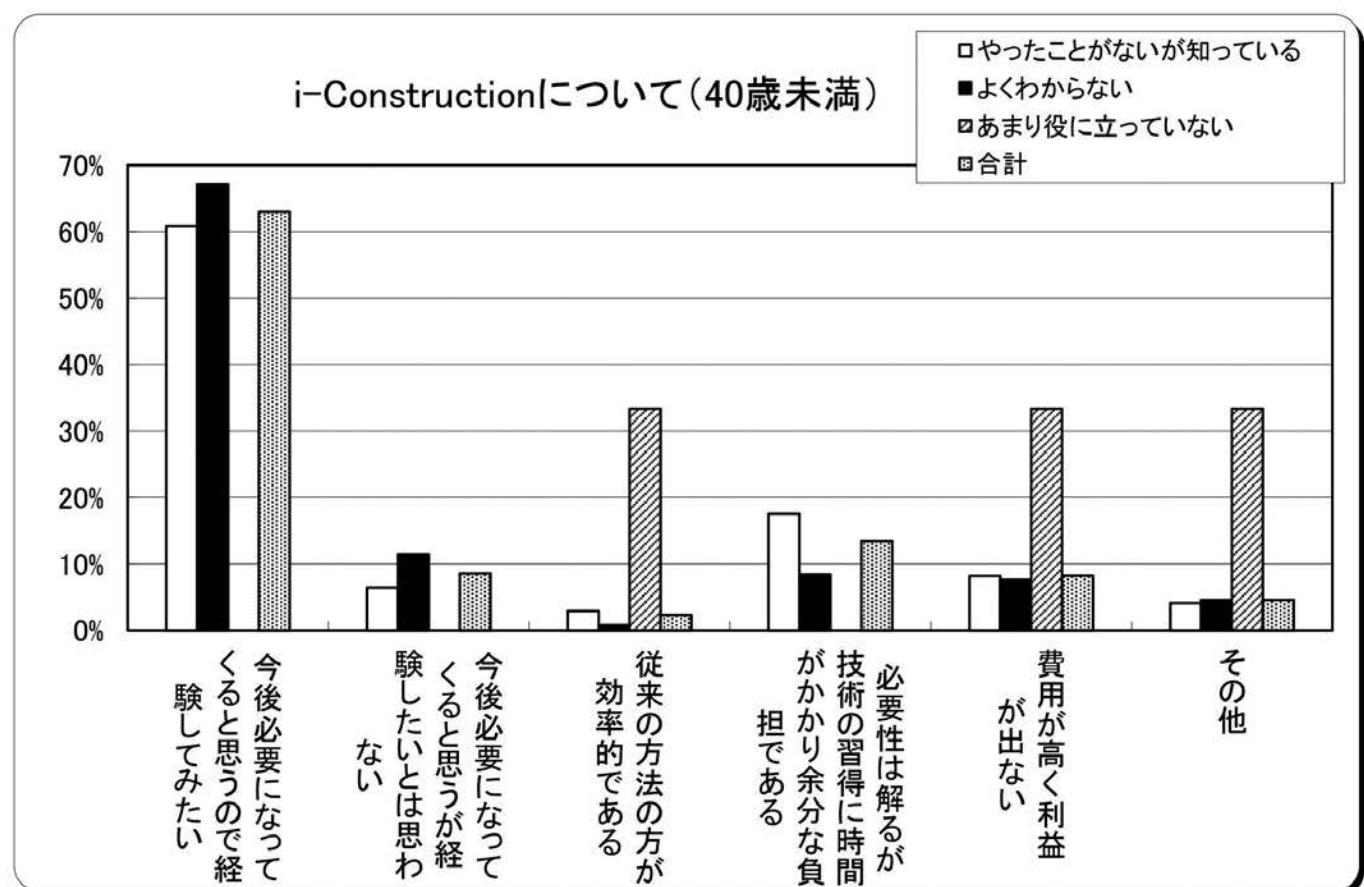
### i-Constructionについて(全体)

□やったことがないが知っている  
■よくわからない  
□あまり役に立っていない  
■合計



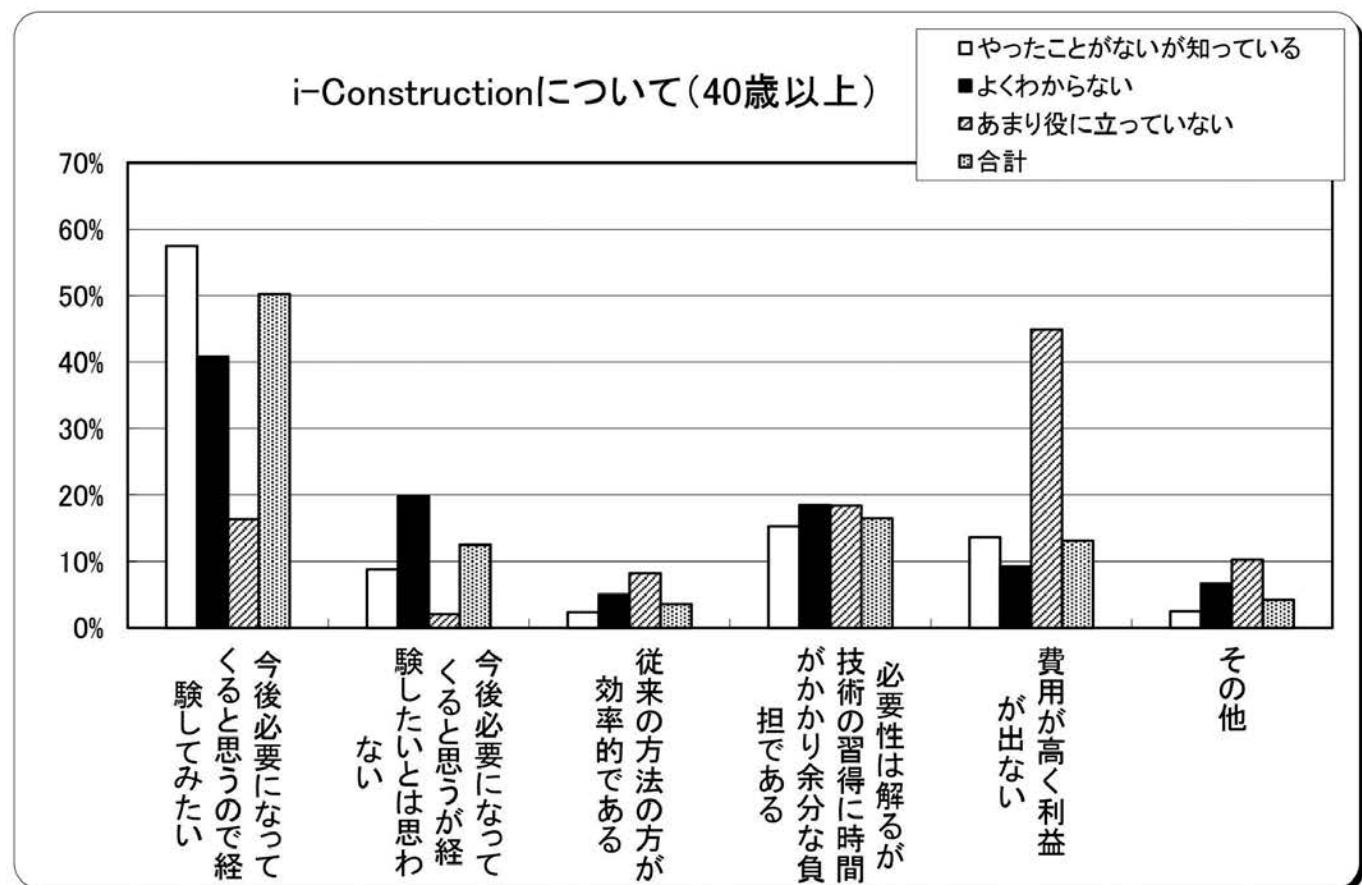
## 40歳未満

i-Constructionについて	やったことがないが知っている	Constructionのことがよくわかる	あまり役に立っていない	合計
今後必要になってくると思うので経験してみたい	104 60.8%	88 67.2%	0 0.0%	192 63.0%
今後必要になってくると思うが経験したいとは思わない	11 6.4%	15 11.5%	0 0.0%	26 8.5%
従来の方法の方が効率的である	5 2.9%	1 0.8%	1 33.3%	7 2.3%
必要性は解るが技術の習得に時間がかかり余分な負担である	30 17.5%	11 8.4%	0 0.0%	41 13.4%
費用が高く利益が出ない	14 8.2%	10 7.6%	1 33.3%	25 8.2%
その他(具体的に)	7 4.1%	6 4.6%	1 33.3%	14 4.6%
合計	171 100.0%	131 100.0%	3 100.0%	305 100.0%



## 40歳以上

i-Constructionについて	やったことがないが知っている	Constructionのことがよくわかる	あまり役に立っていない	合計
今後必要になってくると思うので経験してみたい	532 57.5%	221 40.9%	8 16.3%	761 50.2%
今後必要になってくると思うが経験したいとは思わない	81 8.8%	107 19.8%	1 2.0%	189 12.5%
従来の方法の方が効率的である	22 2.4%	27 5.0%	4 8.2%	53 3.5%
必要性は解るが技術の習得に時間がかかり余分な負担である	141 15.2%	100 18.5%	9 18.4%	250 16.5%
費用が高く利益が出ない	126 13.6%	50 9.2%	22 44.9%	198 13.1%
その他(具体的に)	23 2.5%	36 6.7%	5 10.2%	64 4.2%
合計	925 100.0%	541 100.0%	49 100.0%	1515 100.0%



### 問30-3 その他の回答

#### 問30 2. やったことがないが知っているを選択された方の回答

- ・ ICT施工の重要性は認識しているが大規模工事(国レベルの施工量)での活用が主体に進んでいる。建設工事の約8割は中小規模工事と考える。この層での活用ができなければ生産性が向上するとは考えにくい。 1
- ・ 工事規模等を考慮して、発注案件を決定したほうが良い。 1
- ・ 山間部地域では困難 1
- ・ 施工規模による。 1
- ・ 大規模工事では必要性を感じるが、狭隘箇所・通常の発注工事で必要性を感じない 1
- ・ 大規模工事には意味があると思うが、一般的な工事にはまだ適合していない。または、適合する工種が少ない。 1
- ・ 中小規模工事では費用が高すぎて工事金額に見合わないため経験しようと思ってもチャレンジできない。 1
- ・ 田舎の中小企業には負担が重い 1
- ・ まだまだ小工事には適応していない部分があり。今後の展望は分からない。 1
- ・ 使用する場所、範囲によって変わる。発注者がそのへんを十分に理解すべき。入札時でやると言ったからやれ！みたいなのが多すぎる。柔軟に対応して欲しい。 1
- ・ 図面作成に時間と費用がかかるため改善が必要である。発注規模により生産性が左右されるため、アイコンで発注するのであれば発注規模を大きくしてほしい。 1
- ・ 概ね2億以下の工事数量では、実用性に欠ける。採算が合わない。 1
- ・ 実施可能な条件が限定的で汎用性に欠けるイメージがある。単純な施工の場合効率的だと思っている。 1
- ・ まず、若手人材の確保を行わなければ先に進まない。アイコンを使いこなす人が入りやすい環境整備が必要。 1
- ・ 画一的には決められない。良いところも悪いところも同じくらい大きく知ってもらうことが良いと思う。 1
- ・ 会社で1工事ICT施工を実施したが、工事規模が小さくICT施工の期間が短いと機械費用が出ない、新設の工事が減っていく状況で今後ICT施工工事が増えていくか疑問である。 1
- ・ 機械任せの作業が多くなると緊急時の機械作業をするオペレーターの技術不足につながる恐れがある。 1
- ・ 実際に経験した人に聞くと、施工するまでの準備(変更協議、書類作成)にかなり手間が掛かり仕事量としては増えている様です、活用するメリットが本当の意味であるのか疑問に思う、メリットは工事評定で加点が必ずある事くらいしか無い様に感じます。 1
- ・ 従来の工法との比較による、技術面でのメリット・デメリットがまだよく精査されていないことや土木的知識以外に電子的な技術が必要なことなどどこまで浸透するのかと様子見のような感じ 1
- ・ 生産性も向上する可能性は秘めているのでいいと思うが、規模によっては必ずしも向上するとは限らない可能性もあるかと思う。また、こればかりに頼りすぎると、出来栄えで業者の差が出ない可能性もあるかと思う。設備投資は規模の小さい会社では苦しいと思う。 1
- ・ 必要性は感じるが、更なる技術進歩及び導入費用の低減が必要と考える。 1
- ・ 鋼構造物分野が主だけに、全国的に少量多品種で、なかなか手がまわらなく、難しいのでは 1
- ・ 受注工種が、橋梁補修や上部工のため正直活用できるかがわからない。 1
- ・ 使えそうな技術があれば活用を検討したい 1
- ・ 社内ではすでに実施しているので 1
- ・ 若手に任せる 1
- ・ 信用性にかけるかなあ？？ 1
- ・ 必要もないし、経験したくもない。 1

### 問30 3. i-Constructionのことがよくわからないを選択された方の回答

・ i-Constructionのことがよくわからない	10
・ i-Constructionの内容が理解できないので解答できない。	8
・ 知らない	5
・ i-Constructionのことが全くわからない	4
・ i-Construction 今はじめて知った言葉なので答えようがない。	2
・ 使った事が無い	1
・ 設置費用・内容等十分に理解していないため。	1
・ 当社の規模、現状においては必要と思われないため。	1
・ 日本語にして	1
・ 利用効果が期待できる該当工事がない。	1

### 問30-1 3. あまり役立っていないを選択された方の回答

・ i-Constructionは建設業界の救世主ではなく販促業者と結託して私腹をこやそうとしか見えない	1
・ i-Conは、素晴らしいと思うが、今後大規模な工事が、そんなにあるとは思えない。 宝の持ち腐れ パソコンを動かす人はいるが重機を動かす人がいない。	1
・ 工事内容及び施工数量により効率非効率が顕著に出る。	1
・ 道具の開発に金をかけるなら人材の育成に金をかけたほうが効率的。情報化施工も工事の効率化のみを追求すべき。	1
・ 品質管理や効率性から採用を選択するべき。	1
・ 目的が若手労働人口を増加させるためであるが、若手は賃金よりも休日であり、技術系の学科の減少生徒の減少により補うだけの魅力か疑問である。建設現場での生産性向上の言葉事態が疑問である。	1

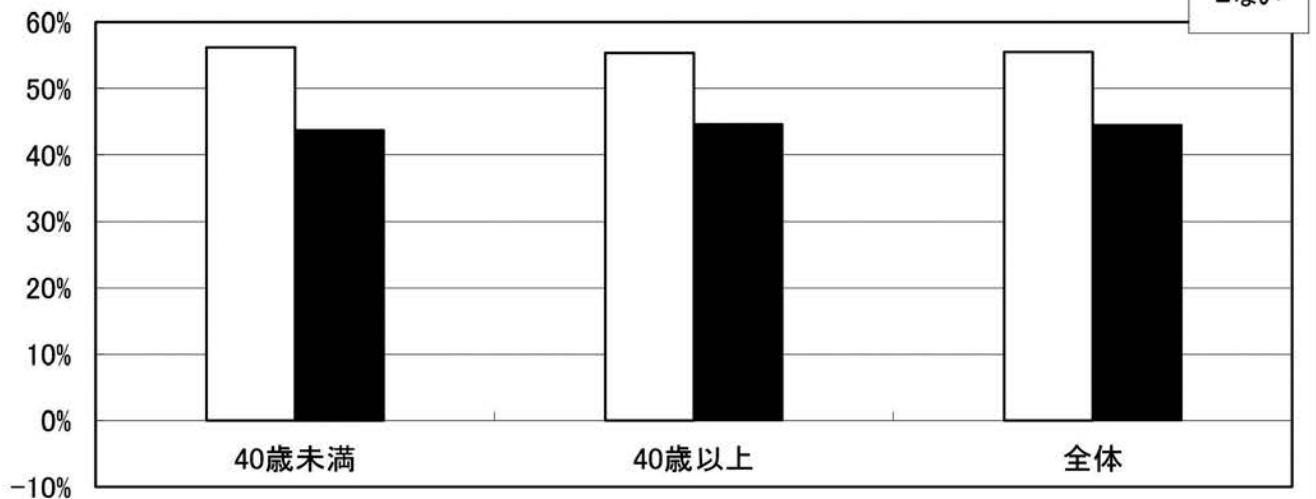
問31. 貴方は今までこの建設業(会社ではなく)を辞めようと思ったことはありますか？

建設業を辞めようと思った	40歳未満	40歳以上	全体
ある	202	56.3%	983
ない	157	43.7%	792
合計	359	100.0%	1775
			2134 100.0%

表31

### 建設業を辞めようと思った

□ある  
■ない



問31で以下に回答された方にお聞きします。辞めようと思った最も大きな理由は？

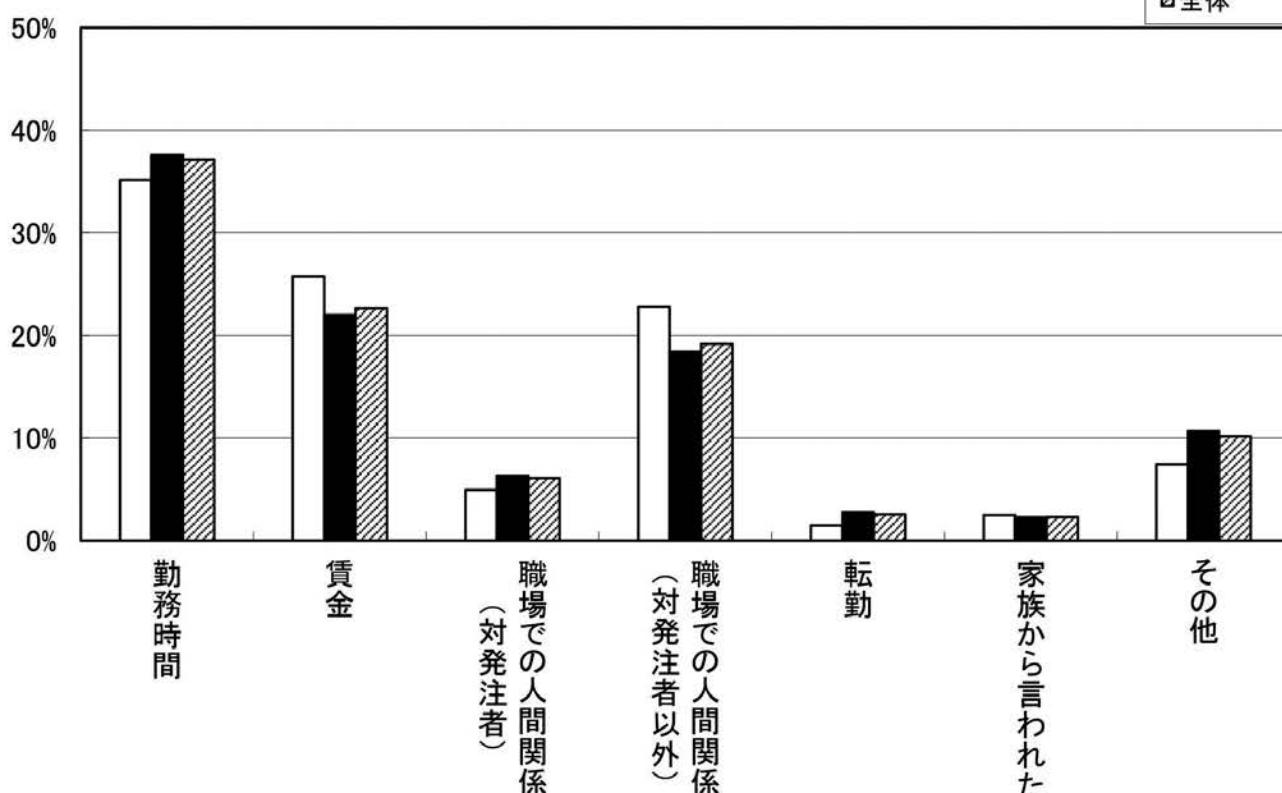
1. ある

辞めようと思った理由	40歳未満	40歳以上	全体	
勤務時間(休暇、残業等)	71	35.1%	369	37.6%
賃金	52	25.7%	216	22.0%
職場での人間関係(対発注者)	10	5.0%	62	6.3%
職場での人間関係(対発注者以外)	46	22.8%	181	18.4%
転勤	3	1.5%	27	2.7%
家族から言われた	5	2.5%	22	2.2%
その他(具体的に)	15	7.4%	105	10.7%
合計	202	100.0%	982	100.0%
			1184 100.0%	

表31-1

### 辞めようと思った理由

□40歳未満  
■40歳以上  
▣全体



### 問31-1 その他の回答

#### 1. あるを選択された方の回答

・ 将来性が不透明	11
・ 建設業の仕事が自分に向いていないと感じた為	4
・ 会社の倒産。会社の内情(経営状況)	4
・ 疾病による。肉体的に無理が効かなくなってきた。	3
・ 責任の重さ。若き頃「ただのサラリーマンなのに…」って思った時期があった	3
・ やりがいを感じられなくなったとき	3
・ 苦労して工事を完成させても、それに見合った儲けを確保することが非常に難しくなったため。	3
・ 技術者として自分の技量に自信がなくなり、将来に希望を持てなくなった時期だった。	3
・ お面白さを感じない	2
・ 技術力の無さ	2
・ 現場が工期内に終らなくて精神的肉体的に病んでしまってやめようと思った。	2
・ 仕事がつらかった	2
・ 仕事がマンネリ化で面白くない。ワクワクする仕事がない。最低価格の制度のおかげで思い切った新技術などの採用に費用が使えない。	2
・ 現場代理人としてのプレッシャーと第3者からの苦情	2
・ 事業量が極端に少なくなった時代に、将来的な展望が持てなくなったから。	2
・ 自分が失敗して周りに迷惑をかけてしまったとき。続ける自信を失いかけた時。	2
・ 自分自身の能力不足	2
・ 会社経営が不安定	2
・ 春先、仕事がなく資金繰りの困る。年間コンスタントに仕事がない。	2
・ 責任の重圧とそれに見合わない賃金。周囲で辞めていく人と話をするが、殆どがこれだと感じる。	2
・ 他業種に興味があった時期がある。	2
・ 体力的な問題	2
・ 現場での責任者である重圧 なんでも代理人の責任になる会社からの圧力	2
・ 仕事に悩み、うつ病になる。(毎日がプレッシャー)	1
・ 近隣住民からの苦情で精神的に追い込まれた。	1
・ 現場を管理進めていく時に天候などにより現場に問題がおき、対策する上で工期等に遅れが生じ、精神的に耐えられなくなった時	1
・ 無理な期間設定(工期厳守)のプレッシャーや自然相手による気疲れ	1
・ 精神的なストレス及び業務内容と賃金を考えた時にバランスが取れていないと感じた。	1
・ 私自身が30才の頃、今から35年前ほどですが、仕事に追われ家庭の事、自分自身の疲労等が重なり体調不良になったため。	1
・ 近年発生が多い異常気象などにより緊急対応が増えてきている。その対応に疲れたときにふと思うことがある。	1
・ 医者に転職を勧められた。もしくは職場の部署変更等。	1
・ 以前落札率が低い為、現場でコスト削減の努力をしても利益を出せなかつた。	1
・ 汚い、危険、賃金が安い、休みがない、イメージが悪い、汗をかきたくないと思ったとき。	1
・ 暑いときも、寒いときも関係なく外で働いて居る時。	1
・ 過去に公共事業が減り、不安定な時期があった時に思いました。	1
・ 過度な工事の受注競争のため	1
・ 適正価格から落としてくる入札自体が異常	1
・ 利益率が低いから。	1
・ 勤務時間が長い。一般職より休日が少ない上、取得が難しい。技術者でありながら賃金が安い。工事期間中は精神的拘束を受けやすい。	1
・ 以前現場にいた友人が他社の近隣の現場で事故で死亡し、その報告を会社に執拗に迫られたとき。	1
・ 死亡事故が多い。	1
・ 建設業が世の中の目の敵になった時代。	1
・ 建設業への風当たりが年々増しているように思えるから。	1
・ 建設業で喜ばれるには、災害の発生したときだけで、インフラ整備施工では、苦情の嵐 生活水準が上がり一般市民の意識も変化し、よりいい水準を求める意識になっている。	1
・ 建設業に関係ない仕事も経験してみたかった。	1
・ 建設業に魅力を感じなくなった時期があった。	1
・ 現在は、仕事も多く充実しているが、一時期仕事も少なく経営的に圧迫していた為	1

・ 現場への通勤が遠い、現場近くに仮住まいを用意する必要があったり、家に帰れない。自宅から工事現場への距離が遠い。工事から工事へとたらい回しにされる。	1
・ 工事に対する考え方方が、未熟だったため。	1
・ 工事件名板上部に「ご迷惑をおかけします」と記載するよう義務付けされた際に、公共土木工事が社会の迷惑であると世の中が判断するなら建設業を辞める事も考えた。その後、県土整備局に直談判し「御協力をお願いします」で良いとしてもらった。	1
・ 仕事がない時	1
・ 仕事のできる(やっている)人とできない(してない)人で賃金も含む会社の待遇が年功序列の古い考えている企業があること。	1
・ 仕事内容が現場状況や天候に左右され作業環境が不安定である。休みが少ない。公務員並みに休んでは工期に間に合わない。又、工事単価が安い。	1
・ 私は経営者であるが今の建設業はまず事業計画が立てられない(いつ受注できるかわからない)のでかなり不安定な状況にある。このままでは事業継続は困難となると思う。実際私と同世代の経営者のほとんどが後継者はいない状況である。工事を受注できない、工事を受注しても人手不足で苦労するような状況なので建設業に魅力を感じない。	1
・ 自分にできることはやったので、他の仕事をしたくなつたから。	1
・ 辞めたいと思わなかつた人がいるのだろうか?この業界で1度も辞めたいと思わない人と会話をしてみたい。基本3K業界なので	1
・ 実家の後継	1
・ 人口減や、予算減の時代に、建設業の将来性に疑問を感じた。年を取っていく中でいつまで今までのように立ち回れるか考えた。新規就労者の減少の中で、自分だけ偉くなつていても部下がいなくなる状況で不安を感じる。	1
・ 成果を認めてもらえない。	1
・ 設計と実行予算の乖離 市町村県の設計には小規模舗装が必要ではないか また、舗装工という労務単価の項目が必要ではないか	1
・ 他にやりたいことがあったから	1
・ 単身赴任	1
・ 地域の為ではなく、工事評定の為に仕事をしているようで嫌になった。若手の技術者がいない為、一人で会社や発注者の要望に応える辛さ。私はちなみに過去に4度県・市より表彰を受けているが工事評定があるが為に言えないことも多く理不尽に感じます。	1
・ 賃金に対し責任が重い、発注者、地権者等に、いつも頭を下げなければならない。	1
・ 土木技術者に対する著しいまでの社会的低評価。	1
・ 土木業界が嫌になった	1
・ 入社して2年か3年目に仕事の業務	1
・ 入社して数年後、将来自分一人で現場を完成させることができるか、また覚える事が多くプレッシャーを感じた時	1
・ 発注それに比例し受注が減少し、さらに受注価格が下がり会社経営がもとより社員に対して今後の雇用に不安を感じた。	1
・ 発注者の無理難題・傍若無人な対応にあきれる	1
・ 発注者側の不備による、現場進捗の滞り。	1
・ 不況時、マスメディア等に真っ先に叩かれ、他の業種では考えられない程予算が削減された。地域に貢献しているという誇りも、良いものを造って来たというプライドも全て意味が無い様なものに思えた為。	1
・ 別業種からの引き抜き。	1
・ 改ざん書類の作成に嫌気がする	1
・ 公務員を志望していたため	1
・ 目的を見失う業務内容	1

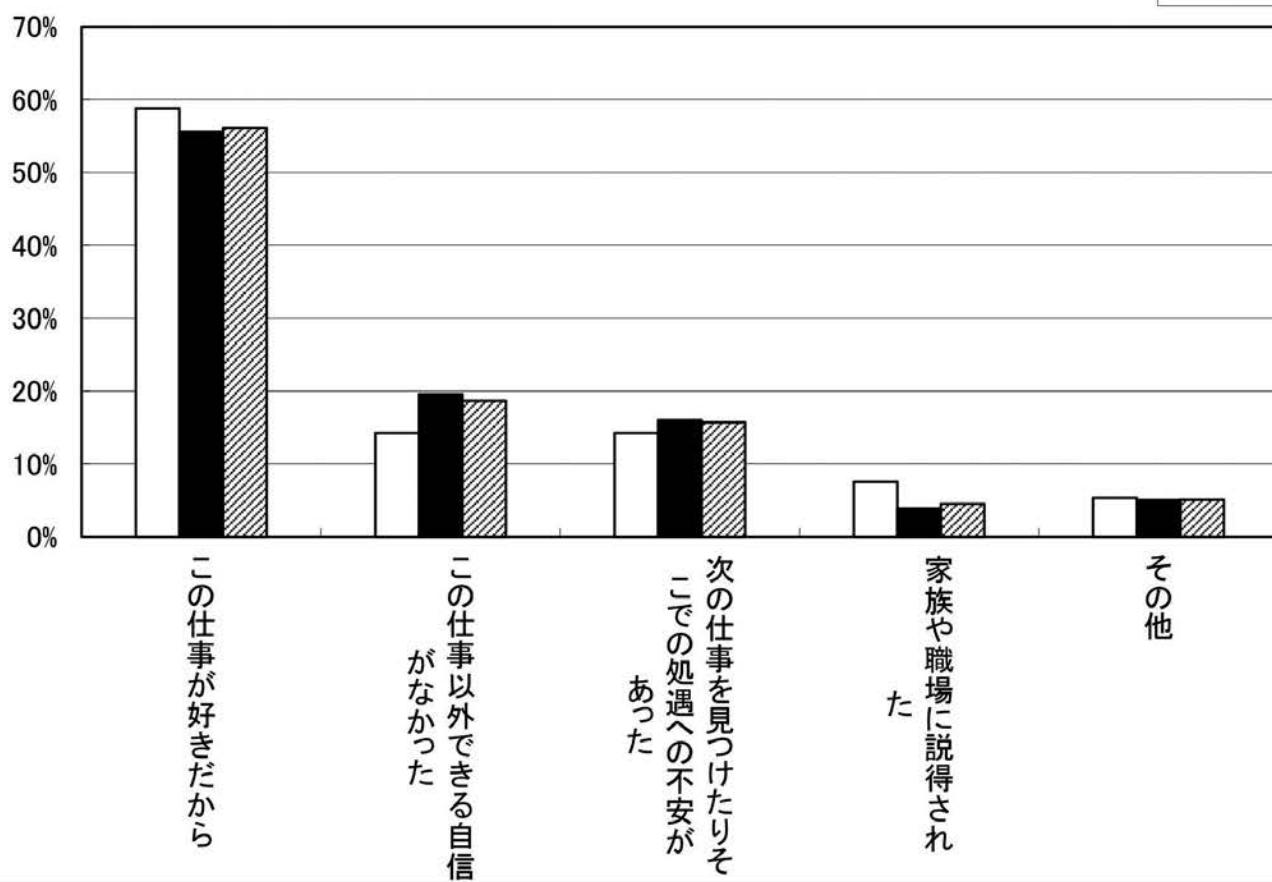
問32. 現在、貴方が建設業に従事している最も大きな理由は？

建設業に従事している理由	40歳未満	40歳以上	全体
この仕事が好きだから(やりがい)	211	58.8%	986
この仕事以外できる自信がなかった	51	14.2%	347
次の仕事を見つけたりそこでの処遇への不安があった	51	14.2%	284
家族や職場に説得された	27	7.5%	69
その他(具体的に)	19	5.3%	89
合計	359	100.0%	1775
			100.0%
			2134
			100.0%

表32

建設業に従事している理由

□40歳未満  
■40歳以上  
▣全体



### 問32 その他の回答

・家業だから	12
・後継者だから	12
・生活のため	7
・なんとなく	6
・専攻が土木工学であったため	6
・惰性	4
・従業員が1名でもいればやめられない	4
・現在勤務している会社が好きなので。	3
・適正な賃金が支払われているから。	3
・今まで従事してきたから	3
・なりゆき	2
・自分の技術能力をいかすため	2
・工場などの仕事より建設業の方が賃金が良い為	2
・土木工学科を卒業して、建設業に就職して今更、他業種へ転職するつもりはないで。	2
・現場に配属されれば、社会的責任が有り従事し続けている。	1
・転職後の不安も大きかったが、辞めることで、負けたと思われたくなかったから。	1
・これから地域の経済インフラ整備業務を行う業者(海上作業・島嶼部等)を支えていく事業者が無くなってしまうため。	1
・まだまだ経験したことのない工種がたくさんある。若年層に技術や知識を引き継げていな い。	1
・ストレスがあり、特に好きな職業ではないが、性にあっている。また経済的な安定を望むた め。	1
・家族に建設業従事者がいたから	1
・過去は建設業が華やかだった	1
・希望職種に就けなかった	1
・機器販売会社から方針転換	1
・技術力の向上	1
・興味があるから	1
・金銭的な問題	1
・県外のIT系からの転職だったが、県内では業種の選択肢が乏しく、最終に残った企業へ の就職が決まった為。	1
・現場が好きで工夫の範囲が大きく楽しいから。	1
・好きではないが、やりがいはある。	1
・工業高校・専門学校を卒業後何となく就いたが、自分にはとても向いてる仕事だと思える から続いている。	1
・拘束時間は長いが適度に休みが取れること。地方では他にこれといった仕事がないこと。 地方では他の仕事と比較して稼げること。	1
・次こそ辞めてやる 今度こそ辞めてやる 何時かやめてやる 今更、やめれない です。	1
・次の仕事を探す時間がない	1
・自然災害から国民の生命、財産、安全を護る仕事だから	1
・自宅から最も近い距離にある株式会社だから。	1
・社会の役に立つ仕事であると思っているから、また技術者を育てることが使命であるから。	1
・常にキャリアアップを考えている。転職というより起業したい。	1
・人間関係のしがらみ	1
・他にやりたい仕事がないため	1
・他業種に合う職種がなかった。	1
・他業種へ転職すると賃金が下がるから	1
・断ることができなかつた	1
・長期で勤めているから(一人前になる前に辞めたくなかった)	1
・潰しが利かないから。	1
・定年が近いから	1
・当面これしか仕事が無かつた。	1
・特にやめる理由がなかった	1
・入社当時、最初の担当現現場の所長から聞いた話「Civil engineersのスタンス(どうあるべきか)」をきいて大いに共感賛同した。	1
・入職した時代は景気が良かった。(昭和50年代) その後、転職する勇気がなかった。	1
・目標となる先輩・経営者がいて自分も同じようになりたい	1
・役員だから辞めれない。	1

### 3. 5 まとめ

今回の調査もこれまで同様、技士会会員を対象者として会員数の約1/30を目途に3, 070名を抽出し、依頼した結果、回答者数1, 636名から回答を得ました。

また、技士会会員以外のCPDS加入者で土木施工管理技士の有資格者にも同じアンケート調査を行った結果、498名から回答を得ました。

この結果、合計回答者数は2, 134名となりました。

今回のアンケート集計結果から、国として各種施策等を行ってきてはいるが、現場技術者の声としては、改善は進んでいるものの大幅には進んでいないように見受けられる。

#### 3. 5. 1 回答者の属性

回答者は40歳～50歳代が最も多く、ほとんどの方が1級施工管理技士資格を有し、経験年数は30年以上の熟練技術者が多くなっている。

なお、全体回答者数のうち、40歳未満の回答者数は369名であった。

また、女性技術者の回答者数は、全体回答者数の約3%（63名）の結果となり、前回の約1%（39名）よりは増加しているが、当会会員の地方業者においては、まだまだ少ない状況にある。

仕事の内容については、外業の現場が最も多く、仕事への満足度は約90%程度が「普通もししくは満足している」との回答で、前回より若干良くなっている。また、月平均休日の取得については、男性が6日、女性が8日以上と多くなっている傾向がみられる。

#### 3. 5. 2 技士会連合会活動に関して

技士会活動に関しては、今後盛んにすべき活動としてCPDS講習会やJCMセミナーの割合が多い。また、情報発信物としての「マンスリーレポート」「ホームページ」の利用状況については、横ばい傾向にある。

希望する講習会の科目としては、「新技術・新施工法」、「品質・出来形・工程管理」が毎回上位になっている。

#### 3. 5. 3 発注に関して

##### （1）提出書類の簡素化

提出書類については、見直しや改善はされてきているが、まだ改善はあまり進んでいないとする回答が多い。何に使う書類が多いかの質問に対し、国の場合、仕様書にあるか否かを問わず設計変更に伴う書類作成が、前回、前々回と変わらず上位を占めている。

提出書類の依頼者については、国の場合、監督官より監督補助員からの依頼が多いという結果になっている。また、提出書類の簡素化・省力化改善策として、最も望まれたのは「照査範囲を明確にして範囲以外の書類を提出しないようにする」でした。

##### （2）工事に関する改善

###### 1) 発注者側の不備等

発注者側の不備等に対し最も改善を望むのは、「設計変更等の適切な実施」と「事前地元説

明・折衝」が前回同様多くありました。

発注者の不備を感じた「設計変更の原因」について、最も多いのは「設計図書と実際の現場が一致しない」でした。また、「改善策」で望まれるのは、「変更図面を詳細設計コンサルタントが作成する」というものが多く、工事の設計変更是発注図面と密接に関係しているため、コンサルタントの施工への関与の検討や工事遅延による経済負担のあり方などの改善策が望まれている。

## 2) 工事の事前地元説明・折衝

「地元住民への説明不足」が約30～40%が該当し、次に「支障物件に関する自治体などとの協議の不足」が約40～50%でした。

問題は、「説明不足による工事の遅れ」において、一ヶ月程度以上の遅れが5割以上発生していることでした。

## 3) その他の改善項目

監督職員の指示では、監督職員からの回答が遅いなどの回答が多くありました。

また、監督員の技術力向上では、資格取得よりも現場に来て、現場に関する知識・技術の習熟など現場経験を積んでほしいとの回答が多くありました。

## (3) 設計変更ガイドライン

ガイドラインについては、「知っていて活用している」の回答が約20%で、「知っていて活用したことがない」「知らない」の回答が約80%もあり、まだまだ、受・発注者共に周知徹底する必要がある。

## (4) 情報共有システム（ASP）

共有システムについて、「知っていて活用している」の回答が前回の30%から約40%に増え、活用傾向が見られた。まだ「知っているが、活用したことがない」「知らない」の回答が約60%もあり、今後、システムの操作性など周知する必要がある。

## (5) 設計変更審査会

審査会については、「知っていて活用している」の回答が約20%に対し、「知っていて活用したことがない」「知らない」の回答が約80%で、「活用している」のは、国の場合が約90%と最も多く、国以外においては、あまり活用されていない状況である。

「実施してみてどう思ったか」に関する感想としては、「とても良い」が最も多いが「よくわからない」という意見も多かった。

## (6) 土木技術者として自分の仕事に対して

「役に立っている」「少しあは役に立っている」と感じている回答が約96%、また、その仕事に誇りを「強く感じる」「少し感じる」の回答が約95%と、若手・熟年技術者の年齢に関係なく、自分の仕事に対して良いイメージを持っていることが解った。

誇りを感じた背景には、「造ったものが残る」「多くの人に利用されている」や「利用者に喜んで貰っている」など、社会インフラ整備への貢献できる仕事であるという意見が多かった。

## (7) 土木技術者として働く上で何が重要か

優先度1番目が「やりがい」、2番目が「適正な賃金」、3番目が「休暇のとりやすさ」の回答が上位3位までを占めている。（全体でみた場合）

ここで、1番目に「やりがい」を選択したひとの

→2番目が「適正な賃金」→3番目が「休暇のとりやすさ」

1番目に「適正な賃金」を選択したひとの

→2番目が「やりがい」→3番目が「休暇のとりやすさ」

1番目に「休暇のとりやすさ」を選択したひとの

→2番目が「適正な賃金」→3番目が「やりがい」

年齢40歳未満でみた場合

1番目に「やりがい」を選択したひとの

→2番目が「適正な賃金」→3番目が「休暇のとりやすさ」

1番目に「適正な賃金」を選択したひとの

→2番目が「休暇のとりやすさ」→3番目が「残業時間の低減」

1番目に「休暇のとりやすさ」を選択したひとの

→2番目が「適正な賃金」→3番目も「適正な賃金」

年齢40歳以上でみた場合

1番目に「やりがい」を選択したひとの

→2番目が「適正な賃金」→3番目が「休暇のとりやすさ」

1番目に「適正な賃金」を選択したひとの

→2番目が「やりがい」→3番目も「やりがい」

1番目に「休暇のとりやすさ」を選択したひとの

→2番目が「適正な賃金」→3番目が「やりがい」

この結果から、上位3位までの「やりがい」、「適正な賃金」、「休暇のとりやすさ」が若手・熟練技術者共年齢に関係なく、重要であると言える。

## (8) i-Constructionの推進等生産性向上に関係した仕事

「やったことがある」は約20%、「やったことがないが知っている」「よくわからない」と回答したひとが約80%で、取り組みが始まったばかりであることが伺える。

「やったことがある」と回答した約20%のひとに、建設現場の生産性向上に役立っていると思うかの問に対し、「役立っている」「少しほど役立っている」の回答が約85%である。また、

「やったことがないが知っている」「よくわからない」と回答した約80%のひとに、i-Constructionについてどう思うかの問に対し、「今後必要になってくると思うので経験してみたい」との回答が多いことから、広く浸透してきていると感じられる。

## (9) 建設業を辞めようと思ったことがあるか

過去に、この仕事を「辞めようと思ったがあるか」の問に対し、約60%の方が「ある」と回答されている。その理由は「勤務時間」「賃金」「職場での人間関係」などが上位を占めていた。

現在、「建設業に従事している最も大きい理由」の問に対し、「この仕事が好きだから（やりがい）」が約60%と最も多く、前述(7)の優先度1位の「やりがい」に通じるものである。